



**HIKVISION**

# ネットワークビデオレコーダー

## クイックスタートガイド

UD.6L0202B1933A01

Made in China

# 目次

<b>ネットワークビデオレコーダー（NVR）の設置</b> .....	<b>8</b>
<b>ハードディスクの設置</b> .....	<b>8</b>
<b>フロントパネル</b> .....	<b>12</b>
DS-9600NI-ST/RT および DS-9600NI-F8.....	12
DS-9600NI-XT.....	12
DS-8600NI.....	12
DS-7700NI-ST/SP.....	15
DS-7600NI-ST/SP.....	17
<b>背面パネル</b> .....	<b>19</b>
DS-9600/8600NI-ST/RT/XT および DS-7700NI.....	19
DS-7600NI-ST および DS-7600-SP.....	20
DS-8600/9600NI-F8.....	21
DS-8664NI-E8.....	22
<b>周辺機器の接続</b> .....	<b>23</b>
アラーム入力の配線.....	23
アラーム出力の配線.....	23
アラームコネクタの使用.....	23
コントローラー接続.....	24
<b>仕様</b> .....	<b>25</b>
DS-9600NI-ST の仕様.....	25
DS-9600NI-RT の仕様.....	26
DS-9600NI-XT の仕様.....	27
DS-8600NI-ST の仕様.....	28
DS-7700NI-ST の仕様.....	29
DS-7700NI-SP の仕様.....	30
DS-7600NI-ST の仕様.....	31
DS-7600NI-SP の仕様.....	32
DS-9600NI-F8 の仕様.....	33
DS-8600NI-F8 の仕様.....	34
DS-8600NI-E8 の仕様.....	35
<b>HDD ストレージ計算表</b> .....	<b>36</b>
<b>メニュー操作</b> .....	<b>37</b>
メニュー構造.....	37
起動とシャットダウン.....	37
管理者パスワードの設定.....	38
ログインとログアウト.....	39
ユーザーログイン.....	39
ユーザーログアウト.....	39
ライブビュー.....	40
メニューの右クリック.....	40
IP カメラの追加.....	41
ワンタッチ RAID 設定.....	44

録画.....	45
<b>インスタント録画.....</b>	<b>45</b>
<b>終日録画.....</b>	<b>45</b>
再生.....	46
バックアップ.....	47
VCA 検知.....	48
VCA 検索.....	49
<b>ウェブブラウザによるアクセス.....</b>	<b>50</b>
ログイン.....	50
ライブビュー.....	51
録画.....	52
再生.....	54

## クイックスタートガイド

COPYRIGHT ©2015 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

### ALL RIGHTS RESERVED.

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社（以下、「Hikvision」とする）の所有するものとします。本ユーザーマニュアル（以下、「本マニュアル」とする）は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。それ以外規定されていない場合、Hikvision は明示的にしる黙示的にしる本マニュアルに関して一切の補償、保証または表明を行わないものとします。

### 本マニュアルについて

本マニュアルはネットワークビデオレコーダー（NVR）に適用されます。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明だけを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとします。最新版は企業ウェブサイト (<http://overseas.hikvision.com/en/>) でご確認ください。

プロの指導の下で本ユーザーマニュアルをご利用ください。

### 商標に関する確認

**HIKVISION** およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、国や地域に関係なく Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

### 免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる誤謬やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示黙示を問わず一切の保証（商品性、十分な品質、特定の目的の適合性および第三者の権利非侵害を含むがそれだけに限定されない）を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、たとえHIKVISION がこのような損害に関して忠告を受けていても、本製品に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや書類の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するかたちで使用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、より新しいほうを優先します。

## 規制情報

### FCC 情報

**FCC 準拠:** この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定され、デジタルデバイスの制限に適合することが判明しました。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して適切な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザー側の負担で干渉に対処する必要があります。

### FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだ、あらゆる干渉受信を受け取らなければならない。

### EU 適合宣言



本製品および -該当する場合- 付属品は、“CE” のマークが付いており、EMC 指令 2004/108/EC、RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令) : この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。 [www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)



2006/66/EC (バッテリー指令) : 本製品には、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。

[www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)

### カナダ産業省 ICES-003 準拠

本デバイスは CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)の規格要件を満たしています。



## 安全上の指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。

使用上の注意の基準は、「警告」と「注意」に分かれています。

**警告**：この警告を無視した場合、重傷を負ったり死亡する可能性があります。

**注意**：この注意を無視した場合、ケガしたり、装置が破損する可能性があります。

	
<b>警告</b> 重傷や死亡を防ぐために、これらの安全対策に従ってください。	<b>注意</b> ケガや物損の可能性を抑えるために、これらの注意に従ってください。



### 警告

- すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/またはエンドユーザーの責任です。
- 製品の使用にあたって、国や地域の電気の安全性に関する法令に厳しく従う必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 基準に従い、SELV（安全超低電圧）および 100～240 VAC または 12 VDC の有限電源を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- アダプターの過負荷によりオーバーヒートや火災の危険性があるため、1 つの電源アダプターに複数のデバイスを接続しないでください。
- プラグがしっかりと電源ソケットに接続されていることを確認してください。
- デバイスから煙や臭い、騒音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。

## 予防および注意に関するヒント

デバイスを接続して操作する前に、以下のヒントをご確認ください。

- ユニットが風通しのよい、ほこりのない環境に設置されていることをご確認ください。
- ユニットは屋内専用に設計されています。
- 液体の近くで本機を使用しないでください。
- 工場仕様を満たす環境条件でご使用ください。
- ユニットがラックや棚に適切に固定されていることをご確認ください。落下によるユニットへの主な衝撃や振動は、内部の繊細な電子機器に損害を与える可能性があります。
- できれば無停電電源装置（UPS）と併用してお使いください。
- ユニットの電源を切ってから、周辺機器の接続や切断を行ってください。
- 工場推奨のHDDを本デバイスに使用してください。
- バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、爆発の危険性があります。同一または同等のタイプのものだけ交換してください。バッテリーメーカーによって提供された指示に従って、使用済みバッテリーを処分してください。

弊社の製品をご購入いただきありがとうございます。ご質問やご要望がございましたら、お気軽にディーラーへご連絡ください。

本マニュアルは次のテーブルに列挙したモデルに適用されます。

シリーズ	モデル
9600NI-ST	DS-9608NI-ST DS-9616NI-ST DS-9632NI-ST DS-9664NI-ST
9600NI-RT	DS-9608NI-RT DS-9616NI-RT DS-9632NI-RT DS-9664NI-RT
9600NI-XT	DS-9616NI-XT DS-9632NI-XT DS-9664NI-XT
8600NI-ST	DS-8608NI-ST DS-8616NI-ST DS-8632NI-ST DS-8664NI-ST
7700NI-ST	DS-7708NI-ST DS-7716NI-ST DS-7732NI-ST DS-7764NI-ST
7700NI-SP	DS-7708NI-SP DS-7716NI-SP DS-7732NI-SP
7600NI-ST	DS-7608NI-ST DS-7616NI-ST DS-7632NI-ST
7600NI-SP	DS-7608NI-SP DS-7616NI-SP DS-7632NI-SP
DS-8600NI-E8	DS-8664NI-E8
DS-8600NI-F8	DS-8608NI-F8
	DS-8616NI-F8
	DS-8632NI-F8
	DS-8664NI-F8
DS-9600NI-F8	DS-9608NI-F8
	DS-9616NI-F8
	DS-9632NI-F8
	DS-9664NI-F8



## ネットワークビデオレコーダー（NVR）の設置

NVRの設置時：

1. ラック取付にはブラケットを使用します。
2. 音声およびビデオケーブルに十分な余裕があることを確認します。
3. 配線時に、ケーブルの曲げ半径が線径の5倍未満にならないようにします。
4. アラームケーブルを接続します。
5. ラック取付デバイスの間隔は最低2cm（ $\approx 0.75$ インチ）が許容値です。
6. NVRがアース接続されていることを確認します。
7. 環境温度は-10 °C $\sim$ 55 °C、14°F  $\sim$  131°Fの範囲にします。
8. 環境湿度は10%  $\sim$  90%の範囲にします。

## ハードディスクの設置

始める前に：

NVRの電源を切断してから、ハードディスクドライブ（HDD）を設置してください。この設置手順では工場推奨 HDD を使用してください。

DS-7600NI-STおよびSPIは、2個までSATAハードディスクを設置できます。DS-7700NI-STおよびSP は、4個までSATAハードディスクを設置できます。DS-9600NI-XTは、16個までSATAハードディスクを設置できます。その他のモデルは8個までSATAハードディスクを設置できます。

必要な工具：ドライバー

手順（DS-9600NI-ST/RT/XT用）：

1. ハードディスク取付ハンドルをハードディスクにネジで固定します。



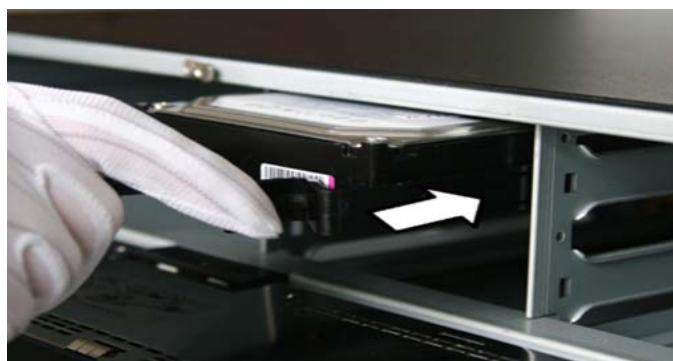
2. 鍵を差し込み、時計回りにまわしてパネルロックを開きます。



3. 両側面のボタンを押して、フロントパネルを開きます。



4. ハードディスクをスロットに挿入して定位置に収めます。



5. 上記の手順を繰り返してNVRに他のハードディスクを設置します。すべてのハードディスクの設置が完了したら、フロントパネルを閉じて、再度施錠します。



**手順（DS-8600NI-STおよびDS-8600NI-E8/F8用）：**

1. 背面および側面のネジを緩めて、NVRからカバーを取り外します。



2. 付属のネジでHDDラックにHDDを設置します。ボタンのネジを締めてHDDを固定します。



3. データケーブルの一端をNVRのマザーボードに、もう一端をHDDに接続します。



4. 電源ケーブルをHDDに接続します。



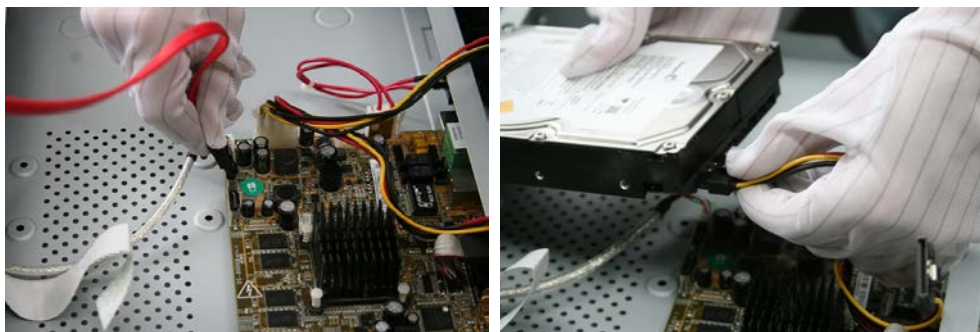
5. NVRのカバーを再度取り付けてネジを締めます。

**手順 (DS-7600NI-ST/SPおよびDS-7700NI-ST/SP用) :**

1. 背面および側面パネルのネジを緩めて、NVR からカバーを取り外します。



2. データケーブルの一端をNVRのマザーボードに、もう一端をHDDに接続します。



3. 電源ケーブルをHDDに接続します。

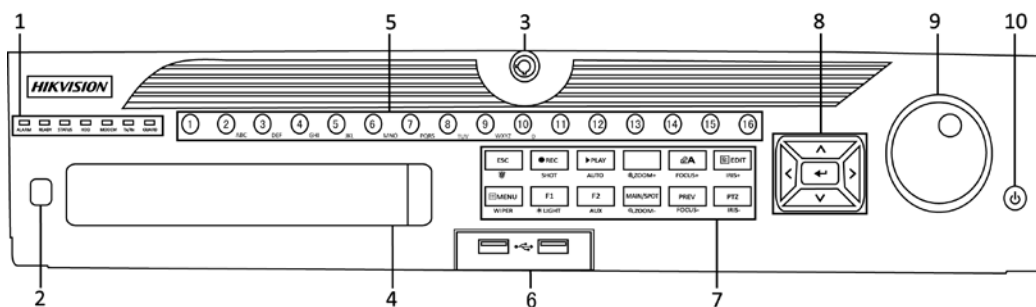


4. デバイスの下部にHDDを配置し、底面のネジを締めてHDDを固定します。

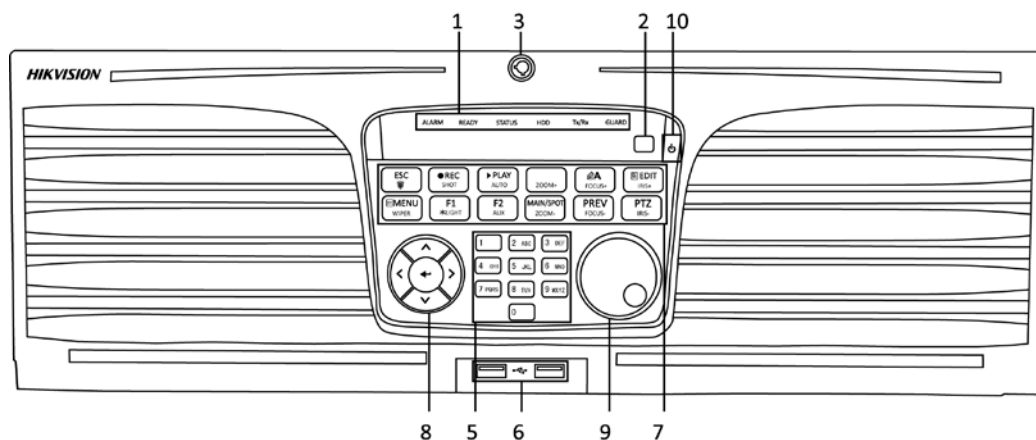


# フロントパネル

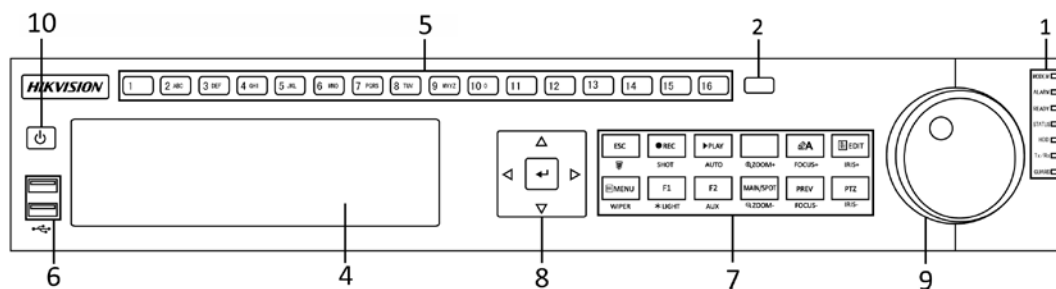
DS-9600NI-ST/RT および DS-9600NI-F8



DS-9600NI-XT



DS-8600NI



No.	名称	機能説明
1	状態インジケータ	アラーム センサアラームが検知された際に赤くなります。
	準備完了	準備完了 LED は通常青色で、デバイスが正常に機能していることを示します。
	状態	デバイスが IR リモートで操作されている時は青くなります。 キーボードで操作されている時は赤くなり、IR リモートとキーボードが同時に使用されている時は紫になります。
	HDD	HDD のデータ読み書き中に赤色で点滅します。
	モデム (DS-9600NI-XT 非)	今後使用するために保存されています。

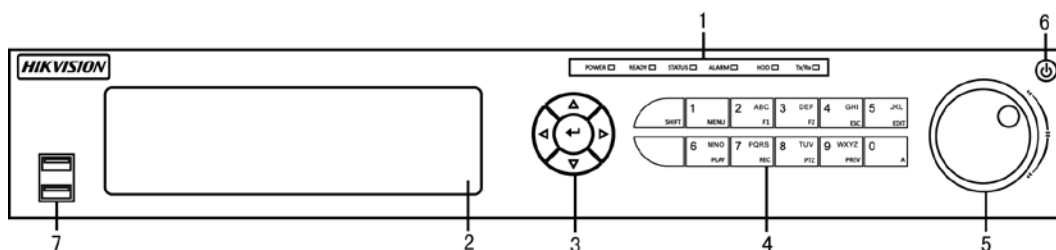
No.	名称	機能説明	
	対応)		
	TX/RX	ネットワーク接続が正常に機能している時に青色で点滅します。	
	ガード	ガード LED はデバイスが警戒状態の時に青色になります。この時、イベントを検知するとアラームが有効になります。 デバイスが警戒解除になると LED が消えます。ライブビューモードで ESC ボタンを 3 秒以上長押しすると、警戒/警戒解除状態を変更できます。	
2	IR レシーバー	IRリモートのレシーバー。	
3	フロントパネルロック (DS-9600NI-ST/RT/XT シリーズ)	鍵でパネルの施錠と解錠ができます。	
4	DVD-R/W	DVD-R/W用のスロット。	
5	英数ボタン	ライブビューやPTZコントロールモードで対応するチャンネルに切り替えます。	
		編集モードで数字や文字を入力します。	
		再生モードで異なるチャンネル間を切り替えます。	
		対応するチャンネルが録画中の時は、ボタンの照明が青になり、ネットワーク送信状態の時は赤になり、録画中かつ送信中の時はピンクになります。	
6	USB インターフェイス	USBマウスやUSBハードディスクドライブ (HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB) ポート。	
7	コンボジットキー	ESC	前のメニューに戻ります。 ライブビューモードでデバイスの警戒/警戒解除時に押します。
		録画/ショット	マニュアル録画設定メニューを開きます。
			PTZ コントロール設定で、ボタンを押してから、数字ボタンを押すと PTZ プリセットを呼び出せます。
			再生モードで音声 on/off 切替にも使用します。
		再生/オート	再生モードを開くために使用するボタンです。
			PTZ コントロールメニューでのオートスキャンにも使用します。
		ズーム+	PTZ コントロール設定の PTZ カメラでズームインします。
		A/フォーカス+	PTZコントロールメニューでフォーカスを調整します。
			入力方法 (大文字、小文字、記号、数字) の切替にも使用します。
		編集/アイリス+	テキストフィールドを編集します。テキストフィールドの編集時、カーソルの前にある文字を削除するバックスペースボタンとしても機能します。
			チェックボックスフィールドでボタンを押すと、チェックボックスにチェックを入れます。
PTZ コントロールモードでは、ボタンでカメラのアイリスを調整します。			
再生モードでは、バックアップ用ビデオクリップの生成に使用できます。			
メイン/スポット/	USB デバイスや eSATA HDD のフォルダーに入ります。		
	メイン出力とスポット出力を切り替えます。		



No.	名称	機能説明	
		<b>ズーム-</b>	PTZコントロールモードでは、画像のズームアウトに使用できます。
		<b>F1/照明</b>	リストフィールドで使用時、リストのアイテムをすべて選択します。
			PTZコントロールモードでは、PTZ 照明の on/off を切り替えます（対応している場合）。
		<b>F2/ 補助</b>	再生モードでは、再生と逆再生の切替に使用します。
			タブページをサイクルします。
		<b>メニュー/ワイパー</b>	同期再生モードでは、チャンネルの切替に使用します。
			ボタンを押すとメインメニューに戻ります（ログイン成功後）。
			ボタンを5秒間長押しすると音声キーアラートを停止します。
		<b>プレビュー/フォーカス-</b>	PTZコントロールモードでは、メニュー/ワイパーボタンでワイパーを起動します（対応している場合）。
			再生モードでは、コントロールインターフェイスの表示/非表示に使用します。
		<b>PTZ/アイリス-</b>	シングルスクリーンとマルチスクリーンを切り替えます。
			PTZコントロールモードでは、A/フォーカス+ボタンと連動してフォーカス調整に使用します。
8	操作ボタン	<b>方向</b>	PTZコントロールモードを開きます。
			PTZコントロールモードでは、PTZ カメラのアイリス調整に使用します。
			方向ボタンは、メニュー内の別のフィールドとアイテムを移動するために使用します。
			再生モードでは、上下ボタンは録画ビデオの早送りとスロー再生に使用します。左右ボタンで、前後の録画ファイルを選択します。
		<b>入る</b>	ライブビューモードでは、チャンネルのサイクルに使用します。
			PTZコントロールモードでは、PTZ カメラの動きを制御できません。
			ENTER ボタンは、あらゆるメニューモードの選択確認に使用します。
			チェックボックスフィールドにチェックを付けることもできます。
			再生モードでは、ビデオの再生や一時停止に使用できます。
			シングルフレーム再生モードでボタンを押すと、シングルフレームごとにビデオを進めます。
			自動切替モードでは、自動切替の停止/開始に使用できます。
			メニューでアクティブな選択を移動します。選択を上下に移動します。
9	ジョグシャトル操作	ライブビューモードでは、別のチャンネルへのサイクルに使用できます。	

No.	名称	機能説明
		再生モードにおいて、DS-9600NI-ST/RT/XTシリーズでは、リングでビデオファイルを30秒ごとの前後へのジャンプをします。DS-8600NI-STシリーズでは、外側リングで録画ファイルの早送りやスロー再生、内側リングで30秒ごとの前後へのジャンプをします。
		PTZコントロールモードでは、PTZカメラの動きを制御できます。
10	電源 ON/OFF	電源 on/off スイッチ。

DS-7700NI-ST/SP



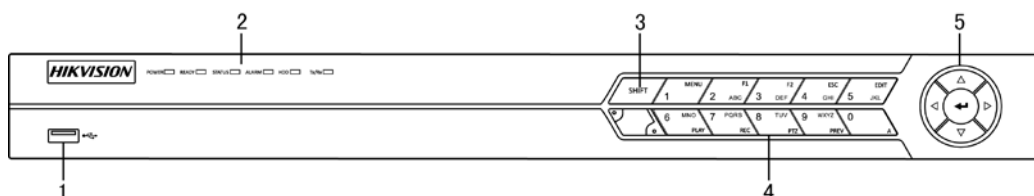
No.	名称	機能説明	
1	状態インジケータ	電源	NVRの電源が入っている時は緑になります。
		準備完了	デバイスが正常に稼働している場合、LEDは緑色です。
		状態	IRリモートコントロールが有効である場合、照明は緑色です。 コンボジットキー（SHIFT）の機能が使用されている場合、照明は赤色です。 上記のいずれでもない場合、照明は点灯しません。
		アラーム	アラーム発生時、照明は赤色です。
		HDD	HDDの読み書き中は、赤色で点滅します。
		Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能している場合、緑色で点滅します。
2	DVD-R/W	DVD-R/W用のスロット。	
3	操作ボタン	方向	メニューモードでは、方向ボタンは別のフィールドとアイテムの移動や設定パラメータの選択に使用します。 再生モードでは、上下ボタンは録画再生の早送りやスロー再生に使用し、左右ボタンは30秒ごとの前後へのジャンプに使用します。 画像設定インターフェイスでは、上下ボタンで画像パラメータのレベルバーを調整できます。 ライブビューモードでは、チャンネルの切替に使用できます。
		入る	入口ボタンは、メニューモードでの選択の確認や、チェックボックスフィールドのチェック、ON/OFFスイッチに使用します。 再生モードでは、ビデオの再生や一時停止に使用できます。



No.	名称	機能説明			
4	コンポジットキー	シングルフレーム再生モードで入口ボタンを押すと、シングルフレームごとにビデオを再生します。 オートシーケンスビューモードでは、オートシーケンスの一時停止や再開に使用できます。			
		数字や文字の入力と、コンポジットキーの機能を切り替えます。（照明が点灯していない場合は文字や数字の入力、照明が赤色の場合は機能を実行します。）			
		1/メニュー	数字“1”を入力します。 メインメニューインターフェイスにアクセスします。		
		2/ABC/F1	数字“2”を入力します。 文字“ABC”を入力します。		
			リストフィールドで使用時、F1ボタンでリストのすべてのアイテムを選択します。 PTZコントロールモードでは、PTZ照明のon/offを切り替え、画像のズームイン時は、ズームアウトに使用します。		
			数字“3”を入力します。 文字“DEF”を入力します。 F2ボタンはタブページの変更に使用します。 PTZコントロールモードでは、画像をズームインします。		
		4/GHI/ESC	数字“4”を入力します。 文字“GHI”を入力します。 閉じて前のメニューに戻ります。		
			5/JKL/編集	数字“5”を入力します。 文字“JKL”を入力します。 カーソルの前にある文字を削除します。 チェックボックスにチェックを付け、ON/OFFスイッチを選択します。 再生時の録画切り取りを開始/停止します。	
				6/MNO/再生	数字“6”を入力します。 文字“MNO”を入力します。 再生インターフェイスに直接アクセスして再生します。
		7/PQRS/録画			数字“7”を入力します。 文字“PQRS”を入力します。 マニュアル録画インターフェイスを開きます。
					8/TUV/PTZ
		9/WXYZ/プレビュー	数字“9”を入力します。 文字“WXYZ”を入力します。 ライブビューでマルチチャンネル表示をします。		
			0/A	数字“0”を入力します。 編集テキストフィールドでの入力方法を切り替えます。（大文字、小文字、アルファベット、記号、数字での入力）。 ボタンを2回押して、メイン出力と補助出力を切り替えます。	

No.	名称	機能説明
5	ジョグシャトル操作	メニューでアクティブな選択を移動します。選択を上下に移動します。
		ライブビューモードでは、別のチャンネルへのサイクルに使用できます。
		再生モードでは、ビデオファイルの30秒ごとの前後へのジャンプができます。
		PTZコントロールモードでは、PTZカメラの動きを制御できます。
6	電源 ON/OFF	電源 on/off スイッチ。
7	USB インターフェイス	USBマウスやUSBハードディスクドライブ（HDD）のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス（USB）ポート。

DS-7600NI-ST/SP

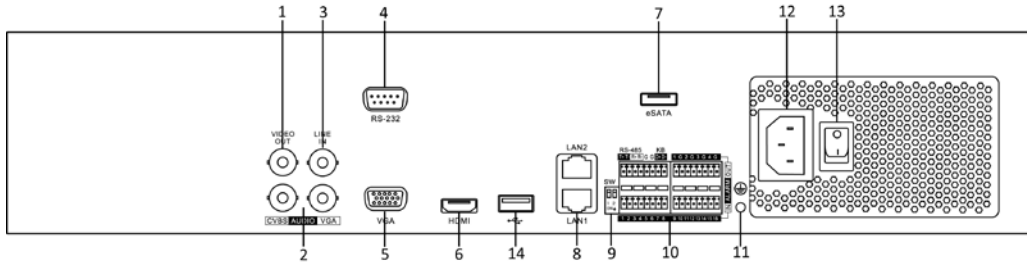


No.	名称	機能説明	
1	USB インターフェイス	USBマウスやUSBフラッシュメモリデバイスを接続します。	
2	状態インジケータ	電源	NVRの電源が入っている時は緑になります。
		準備完了	デバイスが正常に稼働している場合、LEDは緑色です。
		状態	IRリモートコントロールが有効である場合、照明は緑色です。 コンボジットキー（SHIFT）の機能が使用されている場合、照明は赤色です。 上記のいずれでもない場合、照明は点灯しません。
		アラーム	アラーム発生時、照明は赤色です。
		HDD	HDDの読み書き中は、赤色で点滅します。
		Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能している場合、緑色で点滅します。
3	SHIFT	数字や文字の入力と、コンボジットキーの機能を切り替えます。（照明が点灯していない場合は文字や数字の入力、照明が赤色の場合は機能を実行します。）	
4	コンボジットキー	SHIFT	数字や文字の入力と、コンボジットキーの機能を切り替えます。（照明が点灯していない場合は文字や数字の入力、照明が赤色の場合は機能を実行します。）
		1/メニュー	数字“1”を入力します。
			メインメニューインターフェイスにアクセスします。
		2/ABC/F1	数字“2”を入力します。
			文字“ABC”を入力します。
リストフィールドで使用時、F1ボタンでリストのすべてのアイテムを選択します。			
		PTZコントロールモードでは、PTZ照明のon/offを切り替え、	

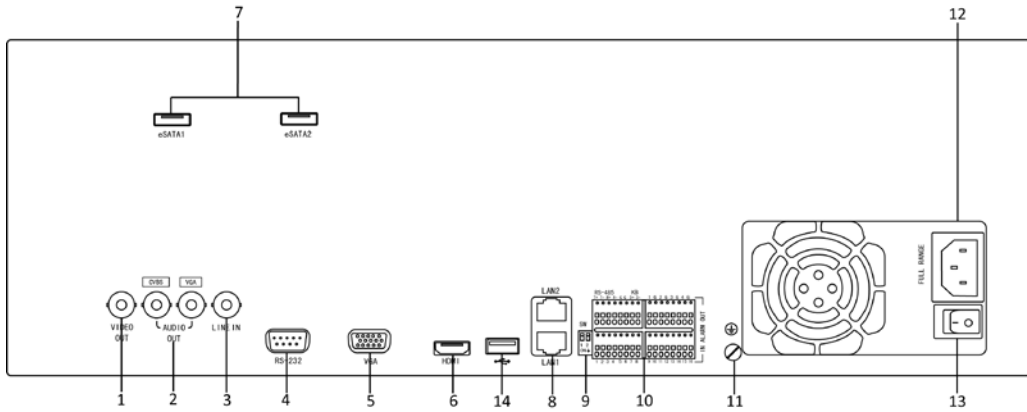
No.	名称	機能説明	
5	操作ボタン	3/DEF/F2	画像のズームイン時は、ズームアウトに使用します。
			数字“3”を入力します。
			文字“DEF”を入力します。
			F2ボタンはタブページの変更に使用します。
		4/GHI/ESC	PTZコントロールモードでは、画像をズームインします。
			数字“4”を入力します。
			文字“GHI”を入力します。
		5/JKL/編集	閉じて前のメニューに戻ります。
			数字“5”を入力します。
			文字“JKL”を入力します。
			カーソルの前にある文字を削除します。
			チェックボックスにチェックを付け、ON/OFFスイッチを選択します。
		6/MNO/再生	再生時の録画切り取りを開始/停止します。
			数字“6”を入力します。
			文字“MNO”を入力します。
		7/PQRS/録画	再生インターフェイスに直接アクセスして再生します。
			数字“7”を入力します。
			文字“PQRS”を入力します。
		8/TUV/PTZ	マニュアル録画インターフェイスを開きます。
			数字“8”を入力します。
			文字“TUV”を入力します。
		9/WXYZ/プレビュー	PTZコントロールインターフェイスにアクセスします。
			数字“9”を入力します。
			文字“WXYZ”を入力します。
0/A	ライブビューでマルチチャンネル表示をします。		
	数字“0”を入力します。		
	編集テキストフィールドでの入力方法を切り替えます。(大文字、小文字、アルファベット、記号、数字での入力)。		
方向	ボタンを2回押して、メイン出力と補助出力を切り替えます。		
	メニューモードでは、方向ボタンは別のフィールドとアイテムの移動や設定パラメータの選択に使用します。		
	再生モードでは、上下ボタンは録画再生の早送りやスロー再生に使用し、左右ボタンは30秒ごとの前後へのジャンプに使用します。		
	画像設定インターフェイスでは、上下ボタンで画像パラメータのレベルバーを調整できます。		
	ライブビューモードでは、チャンネルの切替に使用できます。		
	入る	入口ボタンは、メニューモードでの選択の確認や、チェックボックスフィールドのチェック、ON/OFFスイッチに使用します。	
		再生モードでは、ビデオの再生や一時停止に使用できます。	
		シングルフレーム再生モードで入口ボタンを押すと、シングルフレームごとにビデオを再生します。	
オートシーケンスビューモードでは、オートシーケンスの一時停止や再開に使用できます。			

# 背面パネル

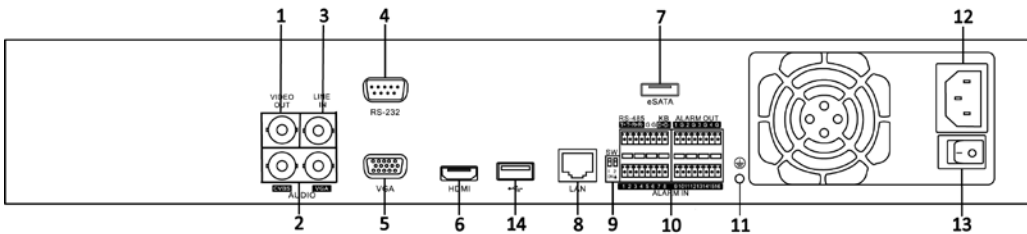
## DS-9600/8600NI-ST/RT/XT および DS-7700NI



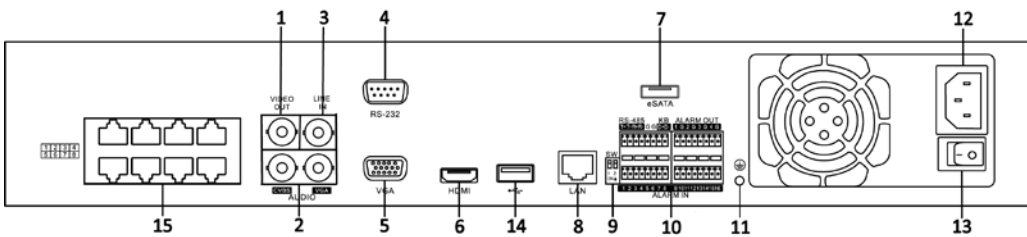
DS-9600NI-ST/RT および DS-8600NI-ST



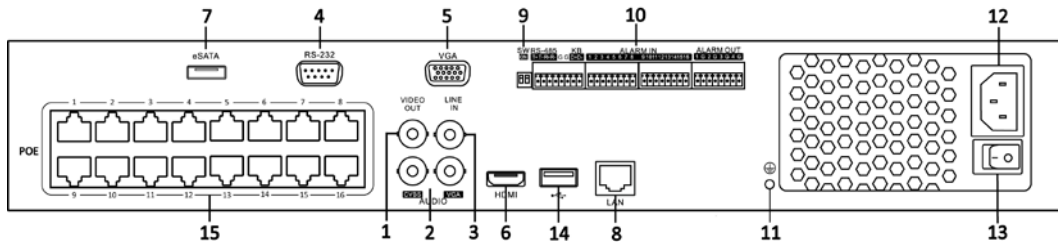
DS-9600NI-ST



DS-7700NI-ST



DS-7708NI-SP



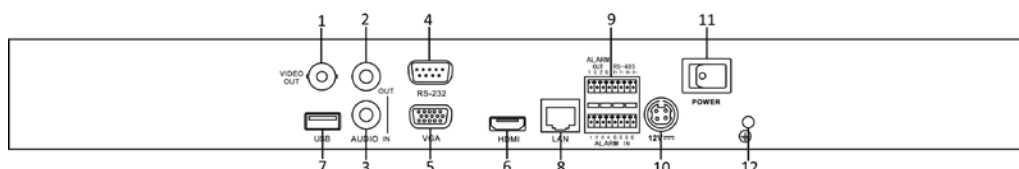
DS-7716/7732NI-SP

No.	項目	説明
1	ビデオ出力	ビデオ出力用BNCコネクタ。
2	CVBS 音声出力	音声出力用BNCコネクタ。このコネクタはCVBSビデオ出力と同期します。
	VGA 音声出力	音声出力用BNCコネクタ。このコネクタはVGAビデオ出力と同期します。
3	ライン入力	音声入力用BNCコネクタ。
4	RS-232 インターフェイス	RS-232デバイス用コネクタ。
5	VGA	VGA出力用DB9コネクタ。ディスプレイローカルビデオ出力とメニュー。
6	HDMI	HDMIビデオ出力コネクタ。
7	eSATA	外部SATA HDD、CD/DVD-RWを接続します。 DS-9600NI-XTは2個のeSATAインターフェイスがあります。
8	LAN インターフェイス	DS-7700NI-ST/SPIには1個、DS-9600NI-ST/RT/XTおよびDS-8600NI-STには2個のネットワークインターフェイスがあります。
9	終端切替	RS-485終端切替。 上にすると終端処理をしません。 下にすると120Ωの抵抗で終端処理します。
10	RS-485 インターフェイス	RS-485デバイス用コネクタ。T+およびT-ピンをPTZレシーバーのR+およびR-ピンにそれぞれ接続します。
	コントローラーポート	D+、D-ピンをコントローラーのTa、Tbピンに接続します。カスケードデバイスでは、最初のNVRのD+、D-ピンを次のNVRのD+、D-ピンに接続する必要があります。
	アラーム入力	アラーム入力用コネクタ。
	アラーム出力	アラーム出力用コネクタ。
11	アース	アース接続（NVR起動時に接続している必要があります）。
12	AC 100V～240V	AC 100V～240Vの電源。
13	電源	デバイスをon/offするスイッチ。
14	USB インターフェイス	USBマウスやUSBハードディスクドライブ（HDD）のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス（USB）ポート。
15	PoE 機能付ネットワーク インターフェイス (DS-7700NI-SP 対応)	カメラ用ネットワークインターフェイスで、イーサネット経由で電力を供給します。

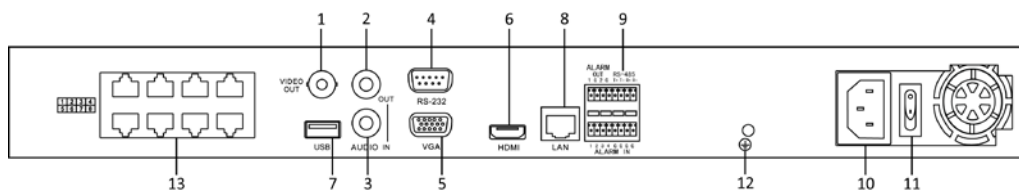


デバイスの RS-485 インターフェイスと終端切替は今後の使用のために保存されています。

### DS-7600NI-ST および DS-7600-SP



DS-7600NI-ST



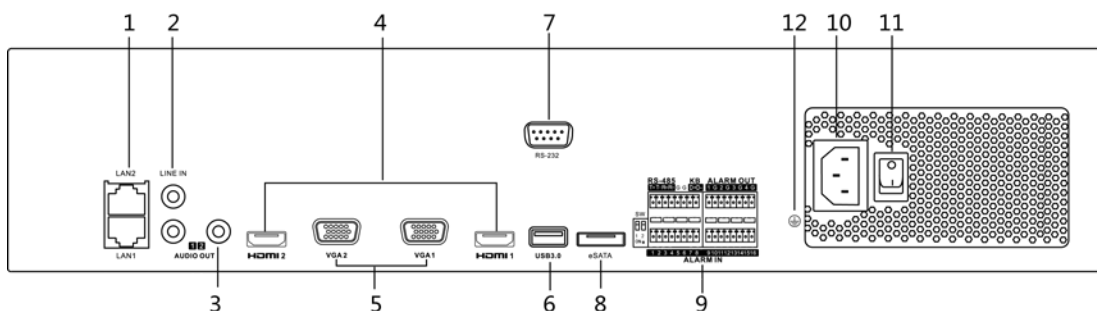
DS-7600NI-SP

No.	項目	説明
1	ビデオ出力	ビデオ出力用BNCコネクタ。
2	音声出力	音声出力用BNCコネクタ。
3	音声入力	音声入力用BNCコネクタ。(双方向音声も対応)
4	RS-232 インターフェイス	RS-232デバイス用コネクタ。
5	VGA	VGA出力用DB9コネクタ。ディスプレイローカルビデオ出力とメニュー。
6	HDMI	HDMIビデオ出力コネクタ。
7	USB	USBディスクとデバイスを接続します。
8	LAN インターフェイス	ネットワークインターフェイス×1。
9	RS-485 インターフェイス	RS-485デバイス用コネクタ。T+およびT-ピンをPTZレシーバーのR+およびR-ピンにそれぞれ接続します。
	アラーム入力	アラーム入力用コネクタ。
	アラーム出力	アラーム出力用コネクタ。
10	電源	DC12V電源。
11	電源スイッチ	デバイスをon/offするスイッチ。
12	アース	アース接続 (NVR起動時に接続している必要があります)。
13	PoE 機能付ネットワーク インターフェイス (DS-7600NI-SP 対応)	カメラ用ネットワークインターフェイスで、イーサネット経由で電力を供給します。



デバイスの RS-485 インターフェイスは今後の使用のために保存されています。

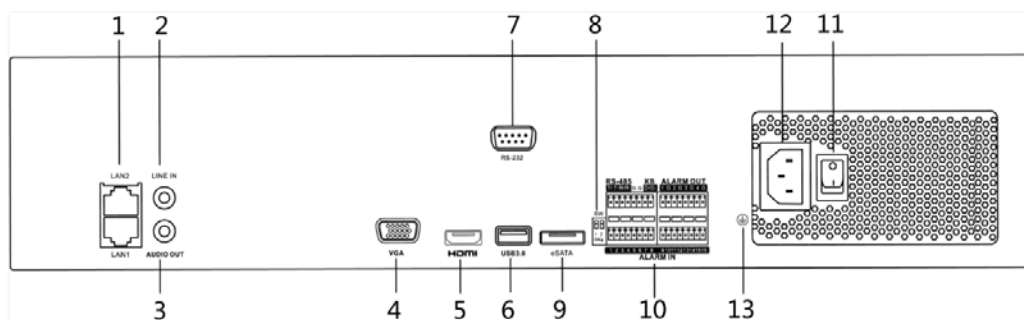
DS-8600/9600NI-F8



No.	項目	説明
1	LAN1/LAN2 インターフェイス	2個のRJ-45 10/100/1000 Mbps自己適応型イーサネットインターフェイスを搭載。
2	ライン入力	音声入力用RCAコネクタ。
3	音声出力	音声出力用RCAコネクタ。
4	VGA1-VGA2	VGA出力用DB9コネクタ。ディスプレイローカルビデオ出力とメ

No.	項目	説明
		メニュー。
5	USB 3.0 インターフェイス	USBマウスやUSBハードディスクドライブ (HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB) ポート。
6	HDMI1/HDMI2	HDMIビデオ出力コネクタ。
7	RS-232 インターフェイス	RS-232デバイス用コネクタ。
8	eSATA	外部SATA HDD、CD/DVD-RMを接続します。
9	コントローラーポート	D+、D-ピンをコントローラーのTa、Tbピンに接続します。カスケードデバイスでは、最初のNVRのD+、D-ピンを次のNVRのD+、D-ピンに接続する必要があります。
	アラーム入力	アラーム入力用コネクタ。
	アラーム出力	アラーム出力用コネクタ。
10	AC 100V~240V	AC 100V~240Vの電源。
11	電源スイッチ	デバイスをon/offするスイッチ。
12	アース	アース接続 (NVR起動時に接続している必要があります)。

DS-8664NI-E8



No.	項目	説明
1	LAN1/LAN2 インターフェイス	2個のRJ-45 10/100/1000 Mbps自己適応型イーサネットインターフェイスを搭載。
2	ライン入力	音声入力用RCAコネクタ。
3	音声出力	音声出力用RCAコネクタ。
4	VGA	VGA出力用DB9コネクタ。ディスプレイローカルビデオ出力とメニュー。
5	HDMI	HDMIビデオ出力コネクタ。
6	USB 3.0 インターフェイス	USBマウスやUSBハードディスクドライブ (HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB) ポート。
7	RS-232 インターフェイス	RS-232デバイス用コネクタ。
8	終端切替	RS-485終端切替。 上にすると終端処理をしません。 下にすると120Ωの抵抗で終端処理します。
9	eSATA	外部SATA HDD、CD/DVD-RMを接続します。
10	コントローラーポート	D+、D-ピンをコントローラーのTa、Tbピンに接続します。カスケードデバイスでは、最初のNVRのD+、D-ピンを次のNVRのD+、D-ピンに接続する必要があります。
	アラーム入力	アラーム入力用コネクタ。
	アラーム出力	アラーム出力用コネクタ。
11	電源スイッチ	デバイスをon/offするスイッチ。
12	AC 100V~240V	AC 100~240Vの電源。
13	アース	アース接続 (NVR起動時に接続している必要があります)。

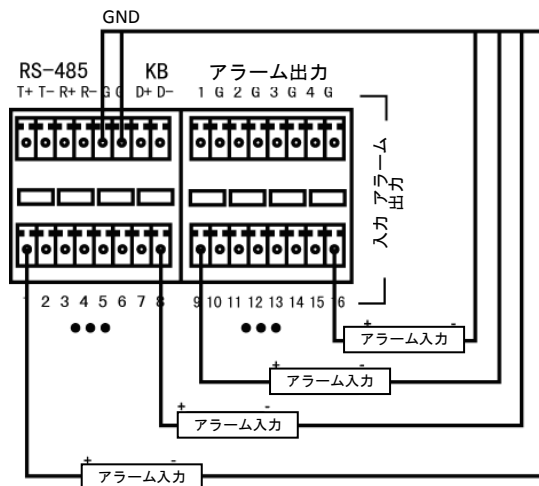
## 周辺機器の接続

### アラーム入力の配線

アラーム入力はオープン/クローズリレーです。デバイスにアラーム入力を接続するには、以下の図を使用してください。

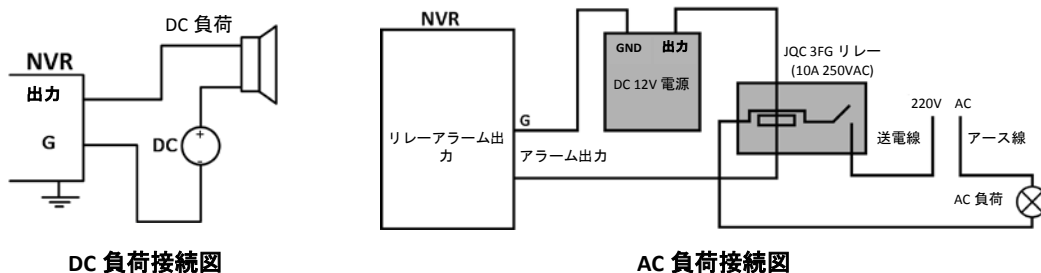


アラーム入力がオープン/クローズリレーではない場合、アラーム入力とデバイスの外部リレーを接続してください。



### アラーム出力の配線

アラーム出力（ACまたはDC 負荷）に接続するには、以下の図を使用してください。



DC負荷では、12V/1A以内でジャンパーを安全に使用できます。

AC負荷接続には、ジャンパーを開いたままにする必要があります（NVRのマザーボードでジャンパーを取り外す必要があります）。安全のために外部リレーを使用してください（上の図表の通り）。

マザーボードには4つのジャンパー（JP1、JP2、JP3、JP4）があり、それぞれ1つのアラーム出力に対応しています。デフォルトでは、ジャンパーが接続されています。AC負荷接続には、ジャンパーを取り外す必要があります。

例：

NVR のアラーム出力 3 に AC 負荷接続する場合、JP3 を取り外す必要があります。

### アラームコネクタの使用

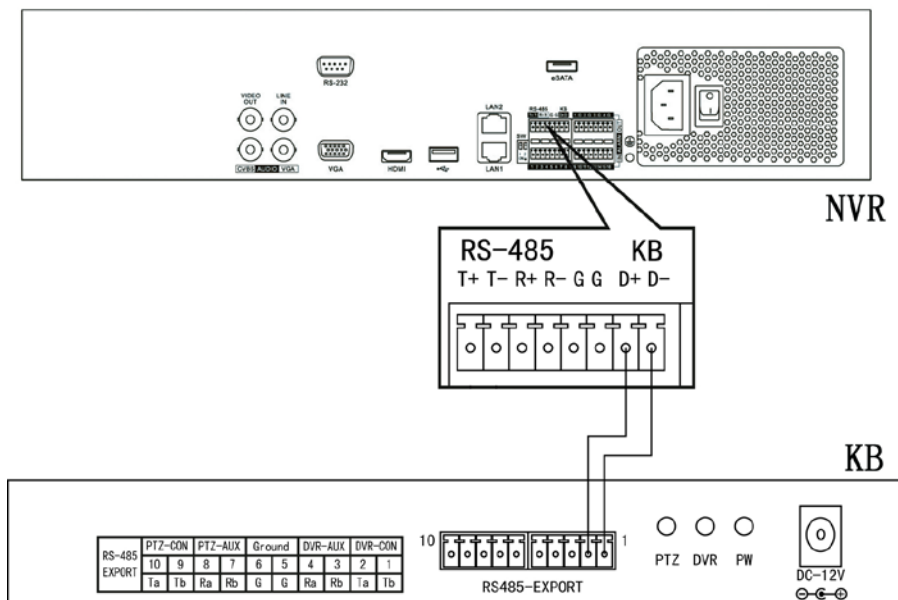
アラームデバイスをNVRに接続する方法：

1. アラーム入力/アラーム出力端子台から接続可能なブロックを切断します。



2. 接続可能なブロックから止めネジを緩めて、信号ケーブルをスロットに差し込み、止めネジを締めます。信号ケーブルが固定されていることを確認します。
3. 端子台に接続可能なブロックを差し込みます。

### コントローラー接続



コントローラーをNVRに接続する方法：

1. KB端子台から接続可能なブロックを切断します。
2. KB D+、D-の接続可能なブロックから止めネジを緩めて、信号ケーブルをスロットに差し込み、止めネジを締めます。信号ケーブルが固定されていることを確認します。
3. コントローラーのTaを端子台のD+に、コントローラーのTbを端子台のD-に接続します。止めネジを締めます。
4. 端子台に接続可能なブロックを差し込みます。



コントローラーとNVR両方がアース接続されていることをご確認ください。

# 仕様

## DS-9600NI-ST の仕様

モデル		DS-9608NI-ST	DS-9616NI-ST	DS-9632NI-ST	DS-9664NI-ST
ビデオ / 音声入力	IP ビデオ入力	8チャンネル	16チャンネル	32チャンネル	64チャンネル
	双方向音声	1チャンネル、BNC (2.0 Vp-p、1kΩ)			
ネットワーク	受信帯域幅	50Mbps	100Mbps	200Mbps	200Mbps
		50Mbps (RAID 有効時)	100Mbps (RAID 有効時)		
	送信帯域幅	240Mbps	240Mbps	160Mbps	160Mbps
		100Mbps (RAID 有効時)			
遠隔接続	128				
ビデオ / 音声出力	録画解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF			
	CVBS 出力	1チャンネル、BNC (1.0 Vp-p、75 Ω) 解像度 : 704 × 576 (PAL)、704 × 480 (NTSC)			
	HDMI 出力	1チャンネル、解像度 : 1920 × 1080P/60Hz、1920×1080P/50Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、 1280 × 720/60Hz、1024 × 768/60Hz			
	VGA 出力	1チャンネル、解像度 : 1920 × 1080P/60Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1280 × 720/60Hz、 1024 × 768/60Hz			
	音声出力	2チャンネル、BNC (リニア、600Ω)			
デコード	ライブビュー/再生解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF			
	性能	10チャンネル @720P、5チャンネル@1080P	10チャンネル @720P、5チャンネル@1080P	16チャンネル @720P、8チャンネル@1080P	16チャンネル @720P、8チャンネル@1080P
ハードディスク	SATA	4台のHDD用SATAインターフェイス×8+ DVD-R/W (デフォルト) ×1、またはHDD×8			
	eSATA	eSATAインターフェイス×1			
	容量	各HDDにつき最大4TB			
ディスク配置	配置タイプ	RAID0、RAID1、RAID5、RAID10			
	配置数	8			
外部インターフェイス	ネットワークインターフェイス	RJ-45 10/100/1000 Mbps 自己適応型イーサネットインターフェイス×2			
	シリアルインターフェイス	RS-232、RS-485、キーボード			
	USB インターフェイス	USB 2.0×3			
	アラーム入力/出力	16/4			
全般	電源	AC100~240V、50~60Hz			
	消費電力 (ハードディスクやDVD-R/Wを除く)	≤ 35 W	≤ 40 W	≤ 45 W	≤ 45 W
	動作温度	-10 °C~+55 °C (14°F~131°F)			
	動作湿度	10%~90%			
	筐体	19 インチラック取付 2U 筐体			
	寸法 (W × D × H)	445 × 470 × 90 mm (17.5" × 18.5" × 3.5")			
	重量 (ハードディスクやDVD-R/Wを除く)	≤ 8 Kg (17.64 lb)			

## DS-9600NI-RT の仕様

モデル		DS-9608NI-RT	DS-9616NI-RT	DS-9632NI-RT	DS-9664NI-RT
ビデオ/音声入力	IP ビデオ入力	8チャンネル	16チャンネル	32チャンネル	64チャンネル
	双方向音声	1チャンネル、BNC (2.0 Vp-p、1kΩ)			
ネットワーク	受信帯域幅	50Mbps	100Mbps	200Mbps	200Mbps
		50Mbps (RAID 有効時)	100Mbps (RAID 有効時)		
	送信帯域幅	240Mbps	240Mbps	160Mbps	160Mbps
		100Mbps (RAID 有効時)			
遠隔接続	128				
ビデオ/音声出力	録画解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF			
	CVBS 出力	1チャンネル、BNC (1.0 Vp-p、75 Ω) 解像度：704 × 576 (PAL)、704 × 480 (NTSC)			
	HDMI 出力	1チャンネル、解像度： 1920 × 1080P/60Hz、1920 × 1080P/50Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、 1280 × 720/60Hz、1024 × 768/60Hz			
	VGA 出力	1チャンネル、解像度： 1920 × 1080P/60Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1280 × 720/60Hz、 1024 × 768/60Hz			
	音声出力	2チャンネル、BNC (リニア、600Ω)			
デコード	ライブビュー/再生解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF			
	性能	10チャンネル @720P、5チャンネル@1080P	10チャンネル @720P、5チャンネル@1080P	16チャンネル @720P、8チャンネル@1080P	16チャンネル @720P、8チャンネル@1080P
ハードディスク	SATA	4台のHDD用SATAインターフェイス×8+DVD-R/W (デフォルト) ×1、またはHDD×8			
	eSATA	eSATAインターフェイス×1			
	容量	各HDDにつき最大4TB			
ディスク配置	配置タイプ	RAID0、RAID1、RAID5、RAID10			
	配置数	8			
	仮想ディスクの数	8			
外部インターフェイス	ネットワークインターフェイス	RJ-45 10/100/1000 Mbps 自己適応型イーサネットインターフェイス×2			
	シリアルインターフェイス	RS-232、RS-485、キーボード			
	USB インターフェイス	USB 2.0×3			
	アラーム入力/出力	16/4			
全般	電源	AC100~240V、50~60Hz			
	消費電力 (ハードディスクやDVD-R/Wを除く)	≤ 35 W	≤ 40 W	≤ 45 W	≤ 45 W
	動作温度	-10 °C ~ +55 °C (14°F ~ 131°F)			
	動作湿度	10% ~ 90%			
	筐体	19 インチラック取付 2U 筐体			
	寸法 (W × D × H)	445 × 470 × 90 mm (17.5" × 18.5" × 3.5")			
	重量 (ハードディスクやDVD-R/Wを除く)	≤ 8 Kg (17.64 lb)			

## DS-9600NI-XT の仕様

モデル		DS-9616NI-XT	DS-9632NI-XT	DS-9664NI-XT
ビデオ/音声入力	IP ビデオ入力	16チャンネル	32チャンネル	64チャンネル
	双方向音声	1チャンネル、BNC (2.0 Vp-p、1kΩ)		
ネットワーク	受信帯域幅	100Mbps	200Mbps	200Mbps
		100Mbps (RAID 有効時)		
	送信帯域幅	240Mbps	160Mbps	160Mbps
		100Mbps (RAID 有効時)		
遠隔接続	128			
ビデオ/音声出力	録画解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF		
	CVBS 出力	1チャンネル、BNC (1.0 Vp-p、75 Ω) 解像度：704 × 576 (PAL)、704 × 480 (NTSC)		
	HDMI 出力	1チャンネル、解像度： 1920 × 1080P/60Hz、1920 × 1080P/50Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、 1280 × 720/60Hz、1024 × 768/60Hz		
	VGA 出力	1チャンネル、解像度： 1920 × 1080P/60Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1280 × 720/60Hz、 1024 × 768/60Hz		
	音声出力	2チャンネル、BNC (リニア、600Ω)		
デコード	ライブビュー/再生解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF		
	性能	10チャンネル@720P、5チャンネル@1080P	16チャンネル@720P、8チャンネル@1080P	16チャンネル@720P、8チャンネル@1080P
ハードディスク	SATA	16台のHDD用SATAインターフェイス×16		
	eSATA	eSATAインターフェイス×2		
	容量	各HDDにつき最大4TB		
ディスク配置	配置タイプ	RAID0、RAID1、RAID5、RAID10		
	配置数	16		
外部インターフェイス	ネットワークインターフェイス	RJ-45 10/100/1000 Mbps 自己適応型イーサネットインターフェイス×2		
	シリアルインターフェイス	RS-232、RS-485、キーボード		
	USBインターフェイス	USB 2.0×3		
	アラーム入力/出力	16/4		
その他	電源	AC100~240V、50~60Hz		
	消費電力 (ハードディスクを除く)	≤ 45 W		
	動作温度	-10 °C~+55 °C (14°F~131°F)		
	動作湿度	10%~90%		
	筐体	19インチラック取付3U筐体		
	寸法 (W × D × H)	445 × 496 × 146 mm (17.5" × 19.5" × 5.7")		
	重量 (ハードディスクを除く)	≤ 12.5 Kg (27.56 lb)		

## DS-8600NI-ST の仕様

モデル		DS-8608NI-ST	DS-8616NI-ST	DS-8632NI-ST	DS-8664NI-ST
ビデオ/音声入力	IP ビデオ入力	8チャンネル	16チャンネル	32チャンネル	64チャンネル
	双方向音声	1チャンネル、BNC (2.0 Vp-p、1kΩ)			
ネットワーク	受信帯域幅	50Mbps	100Mbps	200Mbps	200Mbps
		50Mbps (RAID 有効時)	100Mbps (RAID 有効時)		
	送信帯域幅	240Mbps	240Mbps	160Mbps	160Mbps
		100Mbps (RAID 有効時)			
遠隔接続	128				
ビデオ/音声出力	録画解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF			
	CVBS 出力	1チャンネル、BNC (1.0 Vp-p、75 Ω) 解像度：704 × 576 (PAL)、704 × 480 (NTSC)			
	HDMI 出力	1チャンネル、解像度： 1920 × 1080P/60Hz、1920 × 1080P/50Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、 1280 × 720/60Hz、1024 × 768/60Hz			
	VGA 出力	1チャンネル、解像度： 1920 × 1080P/60Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1280 × 720/60Hz、 1024 × 768/60Hz			
	音声出力	2チャンネル、BNC (リニア、600Ω)			
デコード	ライブビュー/再生解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF			
	性能	10チャンネル @720P、5チャンネル@1080P	10チャンネル @720P、5チャンネル@1080P	16チャンネル @720P、8チャンネル@1080P	16チャンネル @720P、8チャンネル@1080P
ハードディスク	SATA	4台のHDD用SATAインターフェイス×8+DVD-R/W (デフォルト) ×1、またはHDD×8			
	eSATA	eSATAインターフェイス×1			
	容量	各HDDにつき最大4TB			
ディスク配置	配置タイプ	RAID0、RAID1、RAID5、RAID10			
	配置数	8			
外部インターフェイス	ネットワークインターフェイス	RJ-45 10/100/1000 Mbps 自己適応型イーサネットインターフェイス×2			
	シリアルインターフェイス	RS-232、RS-485、キーボード			
	USB インターフェイス	USB 2.0×3			
	アラーム入力/出力	16/4			
全般	電源	AC100~240V、50~60Hz			
	消費電力 (ハードディスクやDVD-R/Wを除く)	≤ 35 W	≤ 40 W	≤ 45 W	≤ 45 W
	動作温度	-10 °C~+55 °C (14°F~131°F)			
	動作湿度	10%~90%			
	筐体	19 インチラック取付 2U 筐体			
	寸法 (W × D × H)	445 × 470 × 90 mm (17.5" × 18.5" × 3.5")			
	重量 (ハードディスクやDVD-R/Wを除く)	≤ 8 Kg (17.64 lb)			

## DS-7700NI-ST の仕様

モデル		DS-7708NI-ST	DS-7716NI-ST	DS-7732NI-ST	DS-7764NI-ST
ビデオ/音声入力	IP ビデオ入力	8チャンネル	16チャンネル	32チャンネル	64チャンネル
	双方向音声	1チャンネル、BNC (2.0 Vp-p, 1kΩ)			
ネットワーク	受信帯域幅	50Mbps	100Mbps	200Mbps	200Mbps
	送信帯域幅	240Mbps	240Mbps	160Mbps	160Mbps
	遠隔接続	128			
ビデオ/音声出力	録画解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF			
	フレームレート	メインストリーム : 25 fps (P)/30 fps (N)			
		サブストリーム : 25 fps (P)/30 fps (N)			
	CVBS 出力	1チャンネル、BNC (1.0 Vp-p, 75 Ω) 解像度 : 704 × 576 (PAL)、704 × 480 (NTSC)			
	HDMI 出力	1チャンネル、解像度 : 1920 × 1080P/60Hz、1920 × 1080P/50Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、 1280 × 720/60Hz、1024 × 768/60Hz			
	VGA 出力	1チャンネル、解像度 : 1920 × 1080P/60Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1280 × 720/60Hz、 1024 × 768/60Hz			
音声出力	2チャンネル、BNC (リニア、600Ω)				
デコード	ライブビュー/再生解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF			
	性能	10チャンネル @720P、5チャンネル @1080P	10チャンネル @720P、5チャンネル @1080P	16チャンネル @720P、8チャンネル @1080P	16チャンネル @720P、8チャンネル @1080P
ハードディスク	SATA	2台の HDD 用 SATA インターフェイス×4+ DVD-R/W (デフォルト) ×1、または HDD×4			
	eSATA	eSATA インターフェイス×1			
	容量	各 HDD につき最大 4TB			
外部インターフェイス	ネットワークインターフェイス	RJ-45 10/100/1000 Mbps 自己適応型イーサネットインターフェイス×1			
	シリアルインターフェイス	RS-232、RS-485、キーボード			
	USB インターフェイス	USB 2.0×3			
	アラーム入力/出力	16/4			
全般	電源	AC100~240V、50~60Hz			
	消費電力 (ハードディスクや DVD-R/W を除く)	≤ 35 W	≤ 40W	≤ 45 W	≤ 45 W
	動作温度	-10 °C~+55 °C (14°F~131°F)			
	動作湿度	10%~90%			
	筐体	19 インチラック取付 1.5U 筐体			
	寸法 (W × D × H)	445 × 390 × 70 mm (17.5" × 15.3" × 2.8")			
	重量 (ハードディスクや DVD-R/W を除く)	≤ 4 Kg (8.82 lb)			

## DS-7700NI-SP の仕様

モデル		DS-7708NI-SP	DS-7716NI-SP	DS-7732NI-SP
ビデオ/音声入力	IP ビデオ入力	8チャンネル	16チャンネル	32チャンネル
	双方向音声	1チャンネル、BNC (2.0 Vp-p、1kΩ)		
ネットワーク	受信帯域幅	50Mbps	100Mbps	200Mbps
	送信帯域幅	240Mbps	240Mbps	160Mbps
	遠隔接続	128		
ビデオ/音声出力	録画解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF		
	フレームレート	メインストリーム : 25 fps (P)/30 fps (N)		
		サブストリーム : 25 fps (P)/30 fps (N)		
	CVBS 出力	1チャンネル、BNC (1.0 Vp-p、75Ω) 解像度 : 704 × 576 (PAL)、704 × 480 (NTSC)		
	HDMI 出力	1チャンネル、解像度 : 1920 × 1080P/60Hz、1920 × 1080P/50Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、 1280 × 720/60Hz、1024 × 768/60Hz		
	VGA 出力	1チャンネル、解像度 : 1920 × 1080P/60Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1280 × 720/60Hz、 1024 × 768/60Hz		
音声出力	2チャンネル、BNC (リニア、600Ω)			
デコード	ライブビュー/再生解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF		
	性能	10チャンネル@720P、5チャンネル@1080P	16チャンネル@720P、8チャンネル@1080P	16チャンネル@720P、8チャンネル@1080P
ハードディスク	SATA	2台の HDD 用 SATA インターフェイス×4+ DVD-R/W (デフォルト) ×1、または HDD×4		
	eSATA	eSATA インターフェイス×1		
	容量	各 HDD につき最大 4TB		
外部インターフェイス	ネットワークインターフェイス	RJ-45 10/100/1000 Mbps 自己適応型イーサネットインターフェイス×1		
	シリアルインターフェイス	RS-232、RS-485、キーボード		
	USB インターフェイス	USB 2.0×3		
	アラーム入力/出力	16/4		
PoE	インターフェイス	個別の 100 Mbps PoE ネットワークインターフェイス×8	個別の 100 Mbps PoE ネットワークインターフェイス×16	
	最大電力	180W	200W	
	対応規格	AT および AF		
全般	電源	AC100~240V、50~60Hz		
	消費電力 (ハードディスク、DVD-R/W、PoE を除く)	≤ 35W	≤ 40W	≤ 45W
	動作温度	-10 °C~+55 °C (14°F~131°F)		
	動作湿度	10%~90%		
	筐体	19 インチラック取付 1.5U 筐体		
	寸法 (W × D × H)	445 × 390 × 70 mm (17.5" × 15.3" × 2.8")		
	重量 (ハードディスクや DVD-R/W を除く)	≤ 4 Kg (8.8 lb)		

## DS-7600NI-ST の仕様

モデル		DS-7608NI-ST	DS-7616NI-ST	DS-7632NI-ST
ビデオ/音声入力	IP ビデオ入力	8チャンネル	16チャンネル	32チャンネル
	双方向音声	1チャンネル、BNC (2.0 Vp-p、1kΩ)		
ネットワーク	受信帯域幅	50Mbps	100Mbps	200Mbps
	送信帯域幅	240Mbps	240Mbps	160Mbps
	遠隔接続	128		
ビデオ/音声出力	録画解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF		
	フレームレート	メインストリーム : 25 fps (P)/30 fps (N)		
		サブストリーム : 25 fps (P)/30 fps (N)		
	CVBS 出力	1チャンネル、BNC (1.0 Vp-p、75 Ω) 解像度 : 704 × 576 (PAL)、704 × 480 (NTSC)		
	HDMI 出力	1チャンネル、解像度 : 1920 × 1080P/60Hz、1920 × 1080P/50Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、 1280 × 720/60Hz、1024 × 768/60Hz		
	VGA 出力	1チャンネル、解像度 : 1920 × 1080P/60Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1280 × 720/60Hz、 1024 × 768/60Hz		
	音声出力	1チャンネル、BNC (リニア、600Ω)		
	再生解像度	5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF		
同期再生	8チャンネル	16チャンネル	16チャンネル	
デコード	ライブビュー/再生解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF		
	性能	10チャンネル@720P、5チャンネル@1080P	10チャンネル@720P、5チャンネル@1080P	16チャンネル@720P、8チャンネル@1080P
ハードディスク	SATA	SATA インターフェイス×2		
	容量	各 HDD につき最大 4TB		
外部インターフェイス	ネットワークインターフェイス	RJ-45 10/100/1000 Mbps 自己適応型イーサネットインターフェイス×1		
	シリアルインターフェイス	RS-232、RS-485		
	USB インターフェイス	USB 2.0×2		
	アラーム入力/出力	4/2		
全般	電源	DC12V		
	消費電力 (ハードディスクを除く)	≤ 13 W		
	動作温度	-10 °C ~ +55 °C (14°F ~ 131°F)		
	動作湿度	10% ~ 90%		
	筐体	19 インチラック取付 1U 筐体		
	寸法 (W × D × H)	445 × 261 × 44.5 mm (17.5" × 10.3" × 1.8")		
	重量 (ハードディスクを除く)	≤ 4 Kg (8.82 lb)		



## DS-7600NI-SP の仕様

モデル		DS-7608NI-SP	DS-7616NI-SP	DS-7632NI-SP
ビデオ/音声入力	IP ビデオ入力	8チャンネル	16チャンネル	32チャンネル
	双方向音声	1チャンネル、BNC (2.0 Vp-p、1kΩ)		
ネットワーク	受信帯域幅	50Mbps	100Mbps	200Mbps
	送信帯域幅	240Mbps	240Mbps	160Mbps
	遠隔接続	128		
ビデオ/音声出力	録画解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF		
	フレームレート	メインストリーム : 25 fps (P)/30 fps (N)		
		サブストリーム : 25 fps (P)/30 fps (N)		
	CVBS 出力	1チャンネル、BNC (1.0 Vp-p、75 Ω) 解像度 : 704 × 576 (PAL)、704 × 480 (NTSC)		
	HDMI 出力	1チャンネル、解像度 : 1920 × 1080P/60Hz、1920 × 1080P/50Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、 1280 × 720/60Hz、1024 × 768/60Hz		
	VGA 出力	1チャンネル、解像度 : 1920 × 1080P/60Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1280 × 720/60Hz、 1024 × 768/60Hz		
音声出力	1チャンネル、BNC (リニア、600Ω)			
デコード	ライブビュー/再生解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF		
	性能	10チャンネル@720P、5チャンネル@1080P	10チャンネル@720P、5チャンネル@1080P	16チャンネル@720P、8チャンネル@1080P
ハードディスク	SATA	SATA インターフェイス×2		
	容量	各 HDD につき最大 4TB		
外部インターフェイス	ネットワークインターフェイス	RJ-45 10/100/1000 Mbps 自己適応型イーサネットインターフェイス×1		
	シリアルインターフェイス	RS-232、RS-485		
	USB インターフェイス	USB 2.0×2		
	アラーム入力	4		
	アラーム出力	2		
PoE	インターフェイス	個別の 100 Mbps PoE ネットワークインターフェイス×8		
	消費電力	120W		
	規格	AF		
全般	電源	AC100～240V、50～60Hz		
	消費電力 (ハードディスク、PoE を除く)	≤ 35W	≤ 40W	≤ 45W
	動作温度	-10 °C～+55 °C (14 °F～131 °F)		
	動作湿度	10%～90%		
	筐体	19 インチラック取付 1U 筐体		
	寸法 (W × D × H)	445 × 261 × 44.5 mm (17.5" × 10.3" × 1.8")		
	重量 (ハードディスクを除く)	≤ 4 Kg (8.82 lb)		

## DS-9600NI-F8 の仕様

モデル		DS-9608NI-F8	DS-9616NI-F8	DS-9632NI-F8	DS-9664NI-F8
ビデオ/音声入力	IP ビデオ入力	8チャンネル	16チャンネル	32チャンネル	64チャンネル
	双方向音声	1チャンネル、RCA (2.0Vp-p、1KΩ)			
ネットワーク	受信帯域幅	80Mbps	160Mbps	320Mbps	320Mbps
	送信帯域幅	256Mbps	256Mbps	256Mbps	256Mbps
	遠隔接続	128			
	ネットワークプロトコル	HIKVISION、ACTi、ARECONT、AXIS、BOSCH、BRICKCOM、CANON、HUNT、ONVIF (Version 2.4)、PANASONIC、PELCO、PSIA、SAMSUNG、SANYO、SONY、VIVOTEK、ZAVIO			
ビデオ/音声出力	録画解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF			
	フレームレート	メインストリーム : 50 fps (P)/60 fps (N)			
		サブストリーム : 50 fps (P)/60 fps (N)			
	HDMI/VGA 出力	2チャンネル、解像度 : 1920×1080P/60Hz、1600×1200/60Hz、1280×1024/60Hz、1280×720/60Hz、1024×768/60Hz			
音声出力	2チャンネル、RCA (リニア、1KΩ)				
デコード	ライブビュー/再生解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF			
	性能	48チャンネル@4CIF、24チャンネル@720P、12チャンネル@1080P		64チャンネル@4CIF、36チャンネル@720P、18チャンネル@1080P	
ハードディスク	SATA	4台のHDD用SATAインターフェイス×8+DVD-R/W (デフォルト)×1、またはHDD×8		8台のHDD用SATAインターフェイス×16+DVD-R/W (デフォルト)×1、またはHDD×16	
	eSATA (オプション)	eSATAインターフェイス×1			
	容量	各HDDにつき最大4TB			
	配置	RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10			
外部インターフェイス	ネットワークインターフェイス	RJ-45 10/100/1000 Mbps 自己適応型イーサネットインターフェイス×2			
	シリアルインターフェイス	RS-232、RS-485、KB			
	USBインターフェイス	USB 2.0×2+USB 3.0×1			
	アラーム入力/出力	16/4 (オプションで16/8に拡張可能)			
全般	電源	AC100~240V			
	消費電力 (ハードディスクやDVD-R/Wを除く)	≤ 20 W			
	動作温度	-10 °C~+55 °C (14°F~131°F)			
	動作湿度	10%~90%			
	筐体	19 インチラック取付 2U 筐体		19 インチラック取付 3U 筐体	
	寸法 (W×D×H)	445×470×90 mm (17.5"×18.5"×3.5")		445×496×146 mm (17.5"×19.5"×5.7")	
	重量 (ハードディスクやDVD-R/Wを除く)	≤ 8 kg (17.6 lb)		≤ 12.5 kg (27.6 lb)	

## DS-8600NI-F8 の仕様

モデル		DS-8608NI-F8	DS-8616NI-F8	DS-8632NI-F8	DS-8664NI-F8
ビデオ/音声入力	IP ビデオ入力	8チャンネル	16チャンネル	32チャンネル	64チャンネル
	双方向音声	1チャンネル、RCA (2.0 Vp-p、1KΩ)			
ネットワーク	受信帯域幅	80Mbps	160Mbps	320Mbps	320Mbps
	送信帯域幅	256Mbps	256Mbps	256Mbps	256Mbps
	遠隔接続	128			
	ネットワークプロトコル	HIKVISION、ACTi、ARECONT、AXIS、BOSCH、BRICKCOM、CANON、HUNT、ONVIF (Version 2.4)、PANASONIC、PELCO、PSIA、SAMSUNG、SANYO、SONY、VIVOTEK、ZAVIO			
ビデオ/音声出力	録画解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF			
	フレームレート	メインストリーム : 50 fps (P)/60 fps (N)			
		サブストリーム : 50 fps (P)/60 fps (N)			
	HDMI/VGA 出力	2チャンネル、解像度 : 1920×1080P/60Hz、1600×1200/60Hz、1280×1024/60Hz、1280×720/60Hz、1024×768/60Hz			
音声出力	2チャンネル、RCA (リニア、1KΩ)				
デコード	ライブビュー/再生解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF			
	性能	48チャンネル@4CIF、24チャンネル@720P、12チャンネル@1080P		64チャンネル@4CIF、36チャンネル@720P、18チャンネル@1080P	
ハードディスク	SATA	4台のHDD用SATAインターフェイス×8+DVD-R/W (デフォルト)×1、またはHDD×8		8台のHDD用SATAインターフェイス×16+DVD-R/W (デフォルト)×1、またはHDD×16	
	eSATA (オプション)	eSATAインターフェイス×1			
	容量	各HDDにつき最大4TB			
	配置	RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10			
外部インターフェイス	ネットワークインターフェイス	RJ-45 10/100/1000 Mbps 自己適応型イーサネットインターフェイス×2			
	シリアルインターフェイス	RS-232、RS-485、KB			
	USBインターフェイス	USB 2.0×2+USB 3.0×1			
	アラーム入力/出力	16/4 (オプションで16/8に拡張可能)			
全般	電源	AC100~240V			
	消費電力 (ハードディスクやDVD-R/Wを除く)	≤ 20 W			
	動作温度	-10 °C~+55 °C (14°F~131°F)			
	動作湿度	10%~90%			
	筐体	19 インチラック取付 2U 筐体		19 インチラック取付 3U 筐体	
	寸法 (W×D×H)	445×470×90 mm (17.5"×18.5"×3.5")		445×496×146 mm (17.5"×19.5"×5.7")	
	重量 (ハードディスクやDVD-R/Wを除く)	≤ 8 kg (17.6 lb)		≤ 12.5 kg (27.6 lb)	

## DS-8600NI-E8 の仕様

モデル		DS-8664NI-E8
ビデオ/音声入力	IP ビデオ入力	64チャンネル
	双方向音声	1 チャンネル、RCA (2.0 Vp-p、1KΩ)
ネットワーク	受信帯域幅	256Mbps
	送信帯域幅	256Mbps
	遠隔接続	128
	ネットワークプロトコル	HIKVISION、ACTi、ARECONT、AXIS、BOSCH、BRICKCOM、CANON、HUNT、ONVIF (Version 2.4)、PANASONIC、PELCO、PSIA、SAMSUNG、SANYO、SONY、VIVOTEK、ZAVIO
ビデオ/音声出力	録画解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF
	フレームレート	メインストリーム : 50 fps (P)/60 fps (N)
		サブストリーム : 50 fps (P)/60 fps (N)
	HDMI/VGA 出力	1 チャンネル、解像度 : 1920 × 1080P/60Hz、1600 × 1200/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1280 × 720/60Hz、1024 × 768/60Hz
音声出力	1 チャンネル、RCA (リニア、1KΩ)	
デコード	ライブビュー/再生解像度	6MP/5MP/3MP/1080P/UXGA/720P/VGA/4CIF/DCIF/2CIF/CIF/QCIF
	性能	48 チャンネル@4CIF、24 チャンネル@720P、12 チャンネル@1080P
ハードディスク	SATA	4 台の HDD 用 SATA インターフェイス×8+ DVD-R/W (デフォルト) ×1、または HDD×8
	eSATA (オプション)	eSATA インターフェイス×1
	容量	各 HDD につき最大 4TB
外部インターフェイス	ネットワークインターフェイス	RJ-45 10/100/1000 Mbps 自己適応型イーサネットインターフェイス×2
	シリアルインターフェイス	RS-232 および RS-485
	USB インターフェイス	USB 2.0×2+USB 3.0×1
	アラーム入力/出力	16/4 (オプションで 16/8 に拡張可能)
全般	電源	AC100~240V
	消費電力 (ハードディスクや DVD-R/W を除く)	≤ 20 W
	動作温度	-10 °C~+55 °C (14°F~131°F)
	動作湿度	10%~90%
	筐体	19 インチラック取付 2U 筐体
	寸法 (W × D × H)	445 × 470 × 90 mm (17.5" × 18.5" × 3.5")
	重量 (ハードディスクや DVD-R/W を除く)	≤ 8 kg (17.6 lb)

## HDD ストレージ計算表

以下の表は、固定ビットレートで1時間1チャンネルで使用される推定ストレージ容量を示しています。

ビットレート	使用ストレージ
96K	42M
128K	56M
160K	70M
192K	84M
224K	98M
256K	112M
320K	140M
384K	168M
448K	196M
512K	225M
640K	281M
768K	337M
896K	393M
1024K	450M
1280K	562M
1536K	675M
1792K	787M
2048K	900M
4096K	1.8G
8192K	3.6G
16384K	7.2G

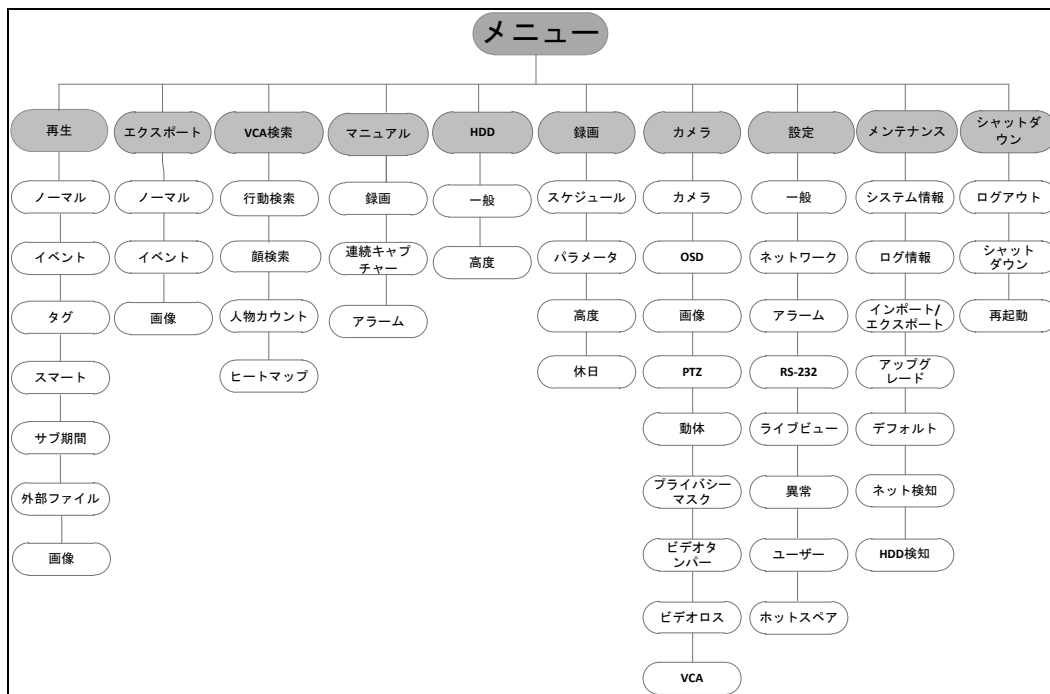


使用ストレージ容量の値は参考にとどめておいてください。表内のストレージの値は計算式によって推定されており、実測値から逸脱するものがあります。

# メニュー操作

## メニュー構造

メニュー構造については以下の図を参照してください。



メニュー構造はモデルごとに異なる場合があります。



DS-9600NI-XT シリーズ NVR では、RAID 機能を有効化すると、RAID が HDD メニュー下に表示されます。  
DS-9600NI-RT シリーズ NVR のメニュー構造：

## 起動とシャットダウン

適切な起動とシャットダウンの手順が、NVRの寿命を延ばすためには重要です。

NVRの起動方法：

1. 電源がコンセントに差し込まれていることを確認します。無停電電源装置（UPS）をデバイスとの接続に使用することを強く推奨します。フロントパネルにある電源ボタン（DS-9600およびDS-8600シリーズNVRの場合）が赤色になっていれば、デバイスに電力供給されていることを示します。
2. フロントパネルの電源ボタンを押します。電源LEDが青色（DS-9600およびDS-8600シリーズNVRの場合）か緑色（DS-7700およびDS-7600シリーズNVRの場合）になります。ユニットが起動し始めます。デバイスが起動後、ウィザードに従って、パスワード変更、日付と時刻の設定、ネットワーク設定、HDD初期化、録画を含む初期設定を進めます。

NVRのシャットダウン方法：

1. シャットダウンメニューを開きます。  
メニュー > シャットダウン



2. シャットダウンボタンを選択します。
3. はいをクリックします。

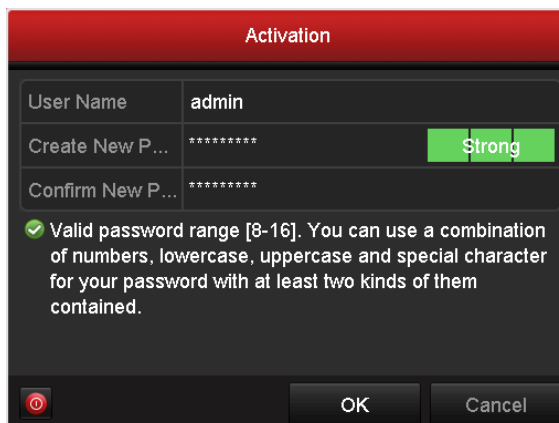
## 管理者パスワードの設定

### 目的：

初回アクセスでは、管理者パスワードを設定してデバイスをアクティベートする必要があります。アクティベートするまでは、どの操作も不可となります。ウェブブラウザや SADP、クライアントソフトウェア経由でデバイスをアクティベートすることもできます。

### 手順：

1. **新パスワードの作成と新パスワードの確認**のテキストフィールドに同じパスワードを入力します。

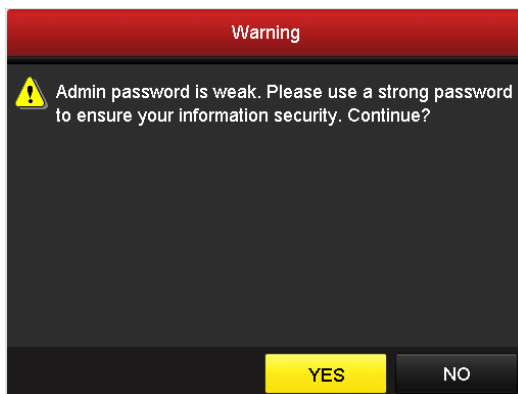


**⚠ 強力なパスワードの推奨** お使いの製品のセキュリティ向上のため、自分自身で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

2. **OK** をクリックしてパスワードを保存し、デバイスをアクティベートします。



旧バージョンのデバイスで、新バージョンに更新する場合、デバイス起動時に以下のダイアログボックスが表示されます。**はい** をクリックし、ウィザードを進めて強力なパスワードを設定できます。



## ログインとログアウト

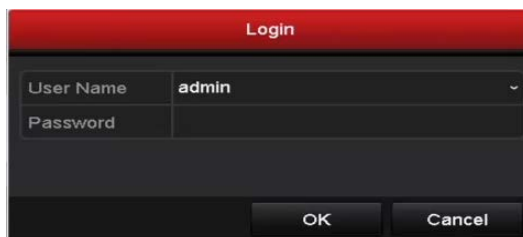
### ユーザーログイン

**目的：**

NVR がログアウトした場合、メニューやその他の機能进行操作する前にログインする必要があります。

**手順：**

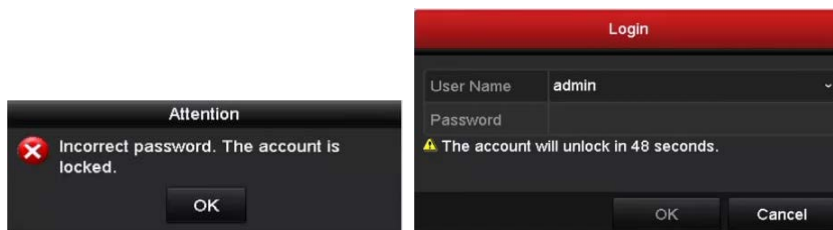
1. ドロップダウンリストで**ユーザー名**を選択します。



2. パスワードを入力します。
3. OK をクリックしてログインします。



ログインダイアログボックスで、間違ったパスワードを7回入力すると、現在のユーザーアカウントは60秒間ロックされます。



### ユーザーログアウト

**目的：**

ログアウト後、モニターはライブビューモードに変わり、操作を実行したい場合、再度ユーザー名とパスワードを入力してログインする必要があります。

**手順：**

1. シャットダウンメニューを開きます。



メニュー > シャットダウン



2. ログアウトをクリックします。



システムからログアウトすると、画面でのメニュー操作は無効になります。システムを解除するにはユーザー名とパスワードの入力が必要です。

## ライブビュー

ライブビューモードではそれぞれのカメラ状態を示すために画面上にいくつかアイコンが表示されます。これらのアイコンは以下のとおりです。

### ライブビューアイコン

ライブビューモードでは、各チャンネルの画面右上にアイコンが表示され、チャンネルの録画やアラームの状態を示すため、問題をいち早く察知できます。



アラーム（ビデオロス、タンパー、動体検知、VCA またはセンサアラーム）



録画（マニュアル録画、連続録画、動体検知、VCA またはアラーム起動録画）



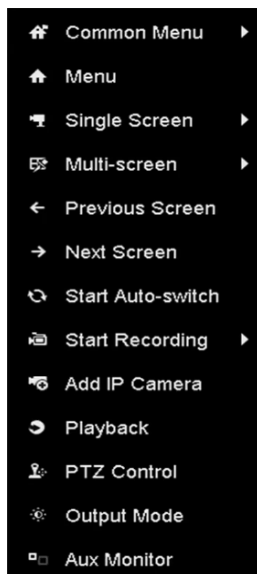
アラームおよび録画



イベント/異常（イベントおよび異常に関する情報で、画面左下に表示されます。）

## メニューの右クリック

ライブビューモードでは、画面上で右クリックすると、以下のメニューにアクセスできます。



名称	説明
共通メニュー	頻繁に表示するサブメニューに素早くアクセスします。最大5つのサブメニューオプションに対応しています。
メニュー	マウスの右クリックでシステムのメインメニューを開きます。
シングルスクリーン	ドロップダウンリストからチャンネル番号を選択してシングル全画面表示に切り替えます。
マルチスクリーン	ドロップダウンリストから選択して画面レイアウトを調整します。
前の画面	前の画面に切り替えます。
次の画面	次の画面に切り替えます。
オートスイッチの開始/停止	画面のオートスイッチを有効化/無効化します。
録画の開始	すべてのチャンネルの連続録画や動体検知録画を開始します。
IPカメラの追加	IPカメラ管理インターフェイスを開き、カメラを管理します。
再生	再生インターフェイスを開き、すぐを選択したチャンネルのビデオの再生を開始します。
出力モード	スタンダード、ブライト、ジェントル、ビビッドという4つの出力モードに対応しています。

## IP カメラの追加

### 目的：


ライブビューやビデオの録画を取得する前に、デバイスの接続リストにネットワークカメラを追加する必要があります。

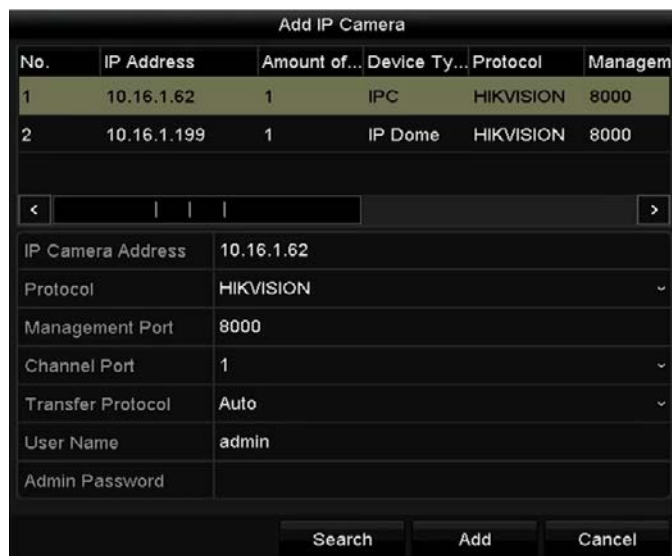
### 始める前に：

ネットワーク接続が有効で正しく、追加するIPカメラをすでにアクティベートしていることをご確認ください。非アクティブなIPカメラのアクティベートについてはユーザーマニュアルを参照してください。IPカメラを追加するには、以下の3つのオプションのうち1つを選択できます。

#### • オプション1：

#### 手順：

1. ライブビューモードで待機中のウィンドウをクリックして選択します。
2. ウィンドウ中央の  アイコンをクリックすると IP カメラの追加インターフェイスが表示されます。

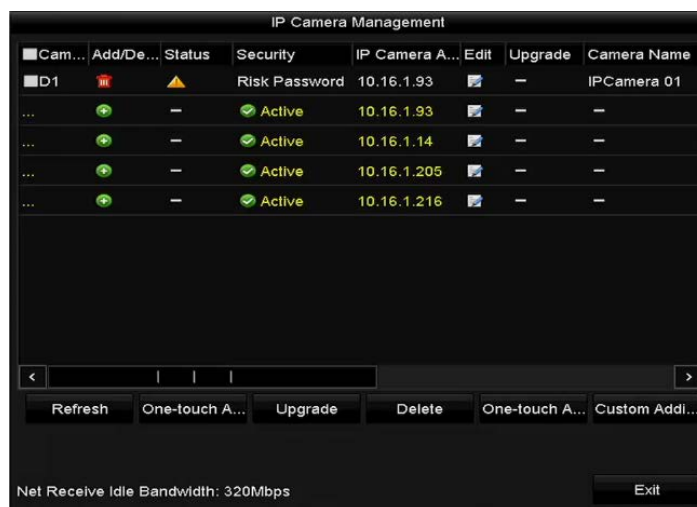



3. 検出された IP カメラを選択してから、**追加**ボタンをクリックして直接追加すると、**検索**ボタンをクリックして手動でオンライン IP カメラを更新できます。  
または、対応するテキストフィールドのパラメータを編集することで IP カメラのカスタム追加を選択でき、**追加**ボタンをクリックして追加します。

- **オプション 2 :**

**手順 :**

1. ライブビューモードの右クリックメニューから **IP カメラの追加**オプションを選択するか、メニュー > カメラ > カメラとクリックしていき、IP カメラ管理インターフェイスを開きます。



2. 同じネットワークセグメントを持つオンラインカメラが検出され、カメラリストに表示されます。
3. リストから IP カメラを選択し、 ボタンをクリックしてカメラを追加します。または、**ワンタッチ追加**ボタンをクリックして、リストから（同じログインパスワードを持つ）全カメラを追加できます。

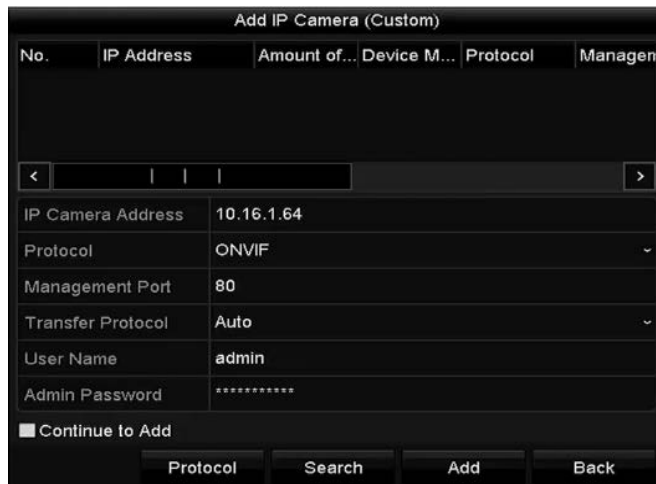


追加するカメラがすでにアクティベートされていることをご確認ください。

- **オプション 3 :**

手順：

- 1) IP カメラ管理インターフェイスで、**カスタム追加**ボタンをクリックすると、IP カメラ（カスタム）の追加インターフェイスが表示されます。



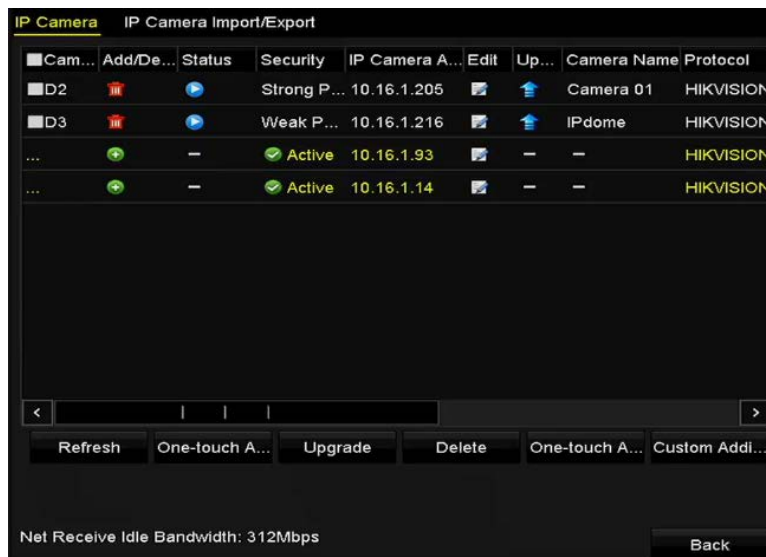
- 2) 追加する IP カメラの IP アドレス、プロトコル、管理ポートおよびその他の情報を編集できます。






追加する IP カメラがアクティベートされていなかった場合、カメラ管理インターフェイスの IP カメラリストからアクティベートできます。

- 3) （オプション）他の IP カメラを追加するには**続行して追加**のチェックボックスにチェックを入れます。
- 4) **追加**をクリックしてカメラを追加します。

正常に追加された IP カメラには、セキュリティ状態にカメラのパスワードのセキュリティレベル（強力なパスワード、弱いパスワード、危険なパスワード）が表示されます。



アイコン	説明	アイコン	説明
	カメラの基本パラメータを編集します。		検出された IP カメラを追加します。
	カメラが切断されています。アイコンをクリックすると、カメラの異常情報を取得できます。		IP カメラを削除します。
	接続されたカメラのライブビデオを再生します。		カメラの高度な設定です。
	接続済み IP カメラをアップグレードします。	<b>セキュリティ</b>	アクティブ/非アクティブやパスワード強度（強/中/弱/危険）といったカメラのセキュリティ状態を示します。

## ワンタッチ RAID 設定

### 目的：

DS-8600/9600NI モデルは RAID ストレージ機能に対応しています。また、DS-9600NI-RT/XT シリーズ NVR では、録画やログファイルをローカルに保存したい場合、ディスク配置を設定する必要があります。ワンタッチ設定で、素早くディスク配置を作成できます。デフォルトでは、作成する配置タイプは RAID 5 です。

### 始める前に：

デフォルトの配置タイプが RAID 5 なので、最低 3 台の HDD をデバイスに設置する必要があります。また、10 台以上の HDD を設置している場合、2 つの配置を設定できます。

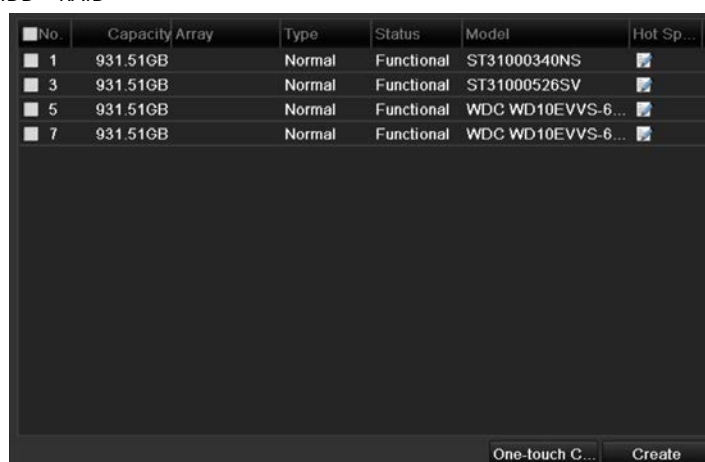
### 手順：

1. (DS-9600NI-XTシリーズ専用) ディスクモード設定インターフェイスのチェックボックスにチェックを入れて RAID 機能を有効化します。

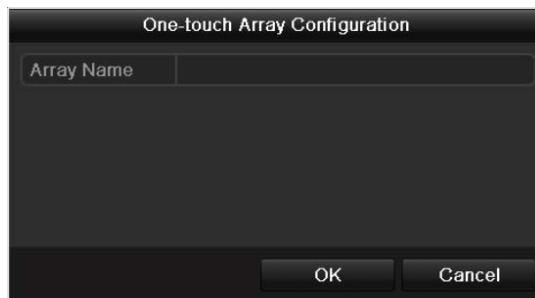
メニュー > HDD > 高度

2. 物理ディスク設定インターフェイスを開きます。

メニュー > HDD > RAID



3. ワンタッチ設定をクリックしてワンタッチ配置設定インターフェイスを開きます。



4. 配置名テキストフィールドの配置名を編集し、OKボタンをクリックして配置の設定を開始します。



ワンタッチ設定で4台以上のHDDを設置する場合、ホットスペアディスクがデフォルトで設定されます。配置に異常がある場合に配置を自動再構築するためにホットスペアディスクを設定することを推奨します。

5. 配置設定が完了して、ポップアップメッセージボックスのOKボタンをクリックすると設定完了です。

## 録画

始める前に：

HDD がすでに設置されていることを確認してください。設置されていない場合、HDD を設置して初期化してください。詳細についてはユーザーマニュアルを参照してください。

目的：

以下のセクションでは、インスタント録画と終日録画を含む 2 種類の録画タイプが紹介されています。その他の録画タイプに関する詳細はユーザーマニュアルを参照してください。







再起動後、有効化されたすべてのマニュアル録画がキャンセルされます。

### インスタント録画

各チャンネルのライブビューウィンドウには、クリックするとウィンドウの下に表示されるクイック設定ツールバーがあります。



 アイコンをクリックすると録画を有効になり、アイコンが  になります。そして  アイコンを

クリックすると、録画が無効になり、アイコンが  になります。

### 終日録画


手順：

1. ライブビューウィンドウで、ウィンドウを右クリックし、カーソルを録画の開始オプションに移動させて、希望にあわせて連続録画か動体検知録画を選択します。
2. そして設定を確認するポップアップ注意メッセージボックスでは**はい**のボタンをクリックします。これで、すべてのチャンネルが選択したモードで録画を開始します。

## 再生

ライブビューメニューで特定のチャンネルの録画ファイルを再生します。チャンネル切替に対応しています。

### ● オプション1:

マウスでライブビューの下にあるチャンネルを選択し、ショートカット操作メニューの  ボタンをクリックします。



このチャンネルで録画された直前の5分間の録画ファイルのみ再生できます。



### ● オプション2:

手順:

1. 再生メニューを開きます。

マウス: ライブビューモードでチャンネルを右クリックしてメニューから再生を選択します。

フロントパネル: 再生ボタンを押して、シングルスクリーンライブビュー下のチャンネルの録画ファイルを再生します。

マルチスクリーンライブビューでは、選択したチャンネルの録画ファイルが再生されます。



数字ボタンを押すと、再生処理中に関連のあるチャンネルに切り替えます。

2. 再生を管理します。

再生インターフェイスの下部にあるツールバーで、再生処理をコントロールできます。





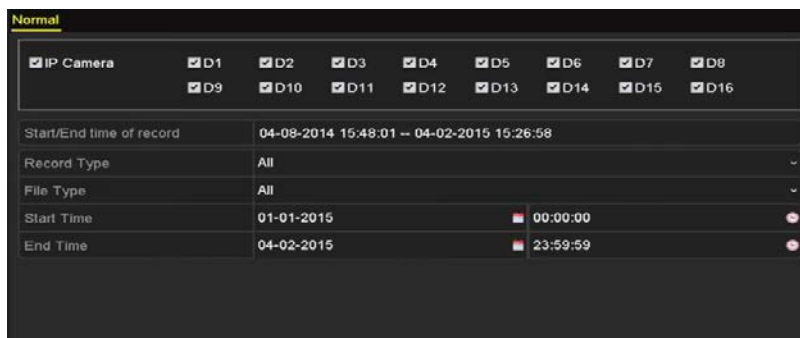
再生を別のチャンネルに切り替えたり、複数チャンネルの同時再生を実行したい場合、チャンネルをチェックするだけです。

## バックアップ

録画ファイルは、USB フラッシュドライブ、USB HDD や DVD ライター等のさまざまなデバイスにバックアップ可能です。

手順：

1. ビデオエクスポートインターフェイスを開きます。  
バックアップしたいチャンネルを選択し、クイックエクスポートボタンをクリックします。



2. エクスポートインターフェイスを開き、バックアップデバイスを選択してエクスポートボタンをクリックするとエクスポートを開始します。



3. バックアップ結果を確認します。



### VCA 検知

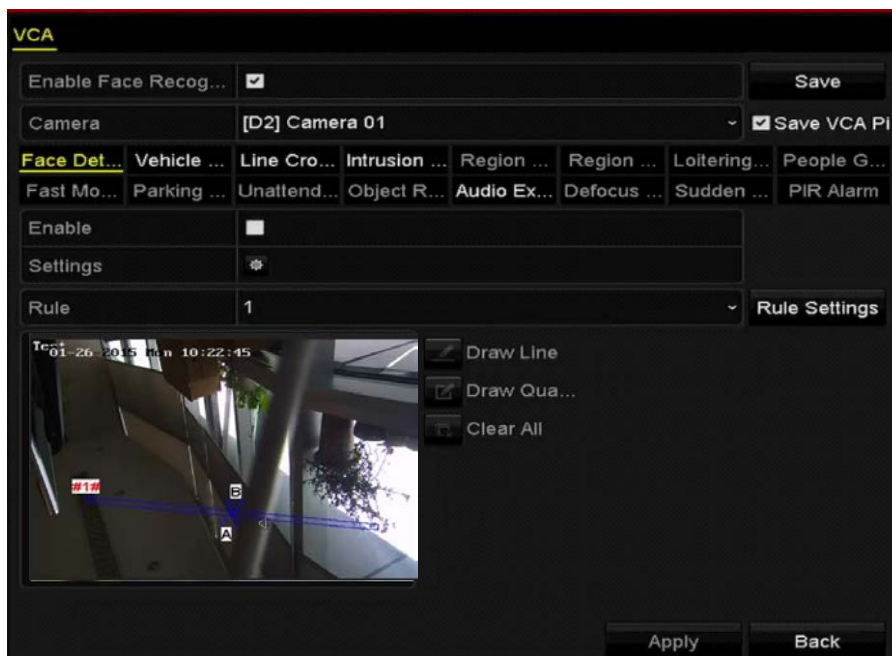
**目的：**

NVR は IP カメラにより送信される VCA 検知アラーム（顔検知、車両検知、ラインクロスおよび侵入検知、範囲進入検知、範囲退出検知、徘徊検知、人物密集検知、高速移動検知、駐車検知、無人荷物検知、オブジェクト除去検知、オーディオロス異常検知、音声急変検知、ピンぼけ検知）に対応しています。最初に IP カメラ設定インターフェイスで VCA 検知を有効化して設定する必要があります。

**手順：**

1. カメラ管理でVCAアラームインターフェイスを開き、VCAアラームを検知したいカメラを選択します。

メニュー > カメラ > VCA



2. VCA検知を有効化してルール設定を行います。詳細についてはユーザーマニュアルを参照してください。



VCA ルールの設定に関する詳細についてはユーザーマニュアルを参照してください。

## VCA 検索

NVR は行動分析、顔キャプチャー、人物カウントおよびヒートマップの VCA 検索に対応しています。

**顔検索**：アップロードされた顔画像のリソースと定義された類似性（0~100）に基づいて、顔検知の結果から一致する顔画像とビデオファイルを素早く検索します。

**行動検索**：画像やビデオファイルで行動検知（ラインクロス検知、侵入検知、無人荷物検知等を含む）の結果を検索および表示します。

**プレート検索**：開始時刻/終了時刻、国、プレート番号を含むプレート検索条件に従って、一致するキャプチャー済みの車両プレート画像や関連情報を検索および表示できます。

**人物カウント**：特定の設定された場所に入入りした人数を計算し、日次/週次/月次/年次レポートの表で表示します。

**ヒートマップ**：設定された場所での顧客の訪問回数や滞留時間を分析します。ヒートマップは、色で示されたデータで図式化されます。



注

VCA 検索の詳細についてはユーザーマニュアルを参照してください。

**Behavior Search**

<input checked="" type="checkbox"/> IP Camera	<input checked="" type="checkbox"/> D1	<input checked="" type="checkbox"/> D2	<input checked="" type="checkbox"/> D3	<input checked="" type="checkbox"/> D4	<input checked="" type="checkbox"/> D5	<input checked="" type="checkbox"/> D6	<input checked="" type="checkbox"/> D7	<input checked="" type="checkbox"/> D8
	<input checked="" type="checkbox"/> D9	<input checked="" type="checkbox"/> D10	<input checked="" type="checkbox"/> D11	<input checked="" type="checkbox"/> D12	<input checked="" type="checkbox"/> D13	<input checked="" type="checkbox"/> D14	<input checked="" type="checkbox"/> D15	<input checked="" type="checkbox"/> D16
	<input checked="" type="checkbox"/> D17	<input checked="" type="checkbox"/> D18	<input checked="" type="checkbox"/> D19	<input checked="" type="checkbox"/> D20	<input checked="" type="checkbox"/> D21	<input checked="" type="checkbox"/> D22	<input checked="" type="checkbox"/> D23	<input checked="" type="checkbox"/> D24
	<input checked="" type="checkbox"/> D25	<input checked="" type="checkbox"/> D26	<input checked="" type="checkbox"/> D27	<input checked="" type="checkbox"/> D28	<input checked="" type="checkbox"/> D29	<input checked="" type="checkbox"/> D30	<input checked="" type="checkbox"/> D31	<input checked="" type="checkbox"/> D32
	<input checked="" type="checkbox"/> D33	<input checked="" type="checkbox"/> D34	<input checked="" type="checkbox"/> D35	<input checked="" type="checkbox"/> D36	<input checked="" type="checkbox"/> D37	<input checked="" type="checkbox"/> D38	<input checked="" type="checkbox"/> D39	<input checked="" type="checkbox"/> D40
	<input checked="" type="checkbox"/> D41	<input checked="" type="checkbox"/> D42	<input checked="" type="checkbox"/> D43	<input checked="" type="checkbox"/> D44	<input checked="" type="checkbox"/> D45	<input checked="" type="checkbox"/> D46	<input checked="" type="checkbox"/> D47	<input checked="" type="checkbox"/> D48
	<input checked="" type="checkbox"/> D49	<input checked="" type="checkbox"/> D50	<input checked="" type="checkbox"/> D51	<input checked="" type="checkbox"/> D52	<input checked="" type="checkbox"/> D53	<input checked="" type="checkbox"/> D54	<input checked="" type="checkbox"/> D55	<input checked="" type="checkbox"/> D56
	<input checked="" type="checkbox"/> D57	<input checked="" type="checkbox"/> D58	<input checked="" type="checkbox"/> D59	<input checked="" type="checkbox"/> D60	<input checked="" type="checkbox"/> D61	<input checked="" type="checkbox"/> D62	<input checked="" type="checkbox"/> D63	<input checked="" type="checkbox"/> D64

Start Time	03-26-2015		00:00:00	🕒
End Time	03-26-2015		23:59:59	🕒
Type	All			

Search
Back

## ウェブブラウザによるアクセス



インターネットアクセスでの製品の使用は、ネットワークのセキュリティリスクがあることを承諾することになります。ネットワーク攻撃や情報漏えいを回避するには、ご自身の保護対策を強化してください。製品が正常に動作しない場合、ディーラーやお近くのサービスセンターにご連絡ください。

### ログイン

ウェブブラウザ経由でデバイスにアクセスできます。次のウェブブラウザが使用可能です。Internet Explorer 6.0、Internet Explorer 7.0、Internet Explorer 8.0、Internet Explorer 9.0、Internet Explorer 10.0、Apple Safari、Mozilla Firefox、Google Chrome。対応解像度は 1024×768 以上です。

#### 手順：

1. ウェブブラウザを開き、デバイスの IP アドレスを入力してから Enter を押します。
2. デバイスにログインします。
  - デバイスがアクティベートされていない場合、ログインする前にまずアクティベートする必要があります。

- 1) 管理者ユーザーアカウントのパスワードを設定します。
- 2) OK をクリックしてデバイスにログインします。

**⚠️ 強力なパスワードの推奨**— お使いの製品のセキュリティ向上のため、自分自身で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

- デバイスがすでにアクティベートされている場合、ログインインターフェイスでユーザー名とパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。

- ライブビデオの表示やカメラの管理を行う前にプラグインをインストールします。インストールの指示に従い、プラグインをインストールします。



プラグインのインストールを完了するためにウェブブラウザを閉じなければならない場合があります。

## ライブビュー

デバイスにログインすると、ライブビューインターフェイスがデフォルトで表示されます。



ライブビューインターフェイスはモデルごとに異なっている場合があります。


### インターフェイス紹介

No.	名称	説明
1	チャンネルリスト	チャンネルのリストと、各チャンネルの再生および録画の状態を表示します。
2	ライブビューウィンドウ	チャンネルの画像を表示し、マルチウィンドウ分割に対応しています。
3	再生コントロールバー	再生コントロール操作に対応しています。
4	PTZ コントロール	パン、ティルト、ズームの操作に対応しており、プリセットの編集や呼び出しが行えます。 接続済みカメラが PTZ コントロールに対応している場合のみ、PTZ 機能を実行できます。















### ライブビューの開始

手順：

- ライブビューウィンドウで、マウスをクリックして再生ウィンドウを選択します。
- デバイスリストからカメラをダブルクリックしてライブビューを開始します。

3. ツールバーの  ボタンをクリックすると、デバイスリストの全カメラのライブビューを開始できます。

ライブビューウィンドウにあるボタンの説明については以下の表を参照してください。

アイコン	説明	アイコン	説明
	ウィンドウ分割モードを選択します		音声を開く/閉じる
	全ライブビューの開始/停止		双方向音声の開始/停止
	ライブビューモードで画像をキャプチャーします		音量の調整
	全録画の開始/停止		デジタルズームの有効化/無効化
	前/次のページ		全画面
	アイコンをクリックしてライブビューのストリームタイプを選択します。  : メインストリームでのライブビュー  : サブストリームでのライブビュー  : 変換ストリームでのライブビュー		

## 録画

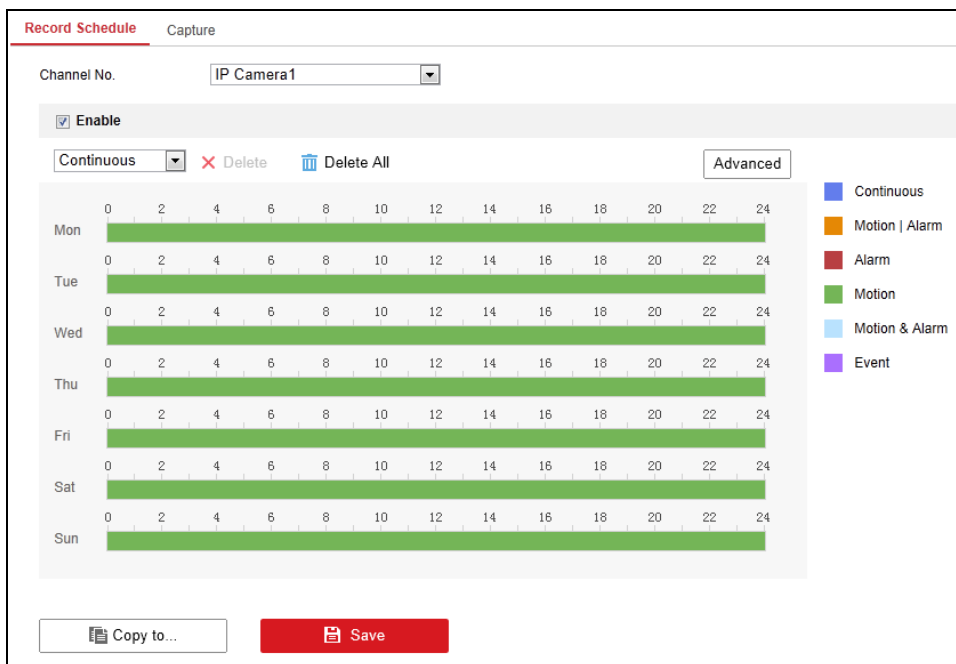
### 始める前に

デバイスがHDDかネットワークディスクに接続されており、初回使用時に初期化されていることを確認してください。

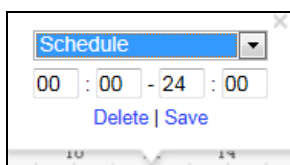
2つの録画タイプを設定できます：マニュアルとスケジュール以下のセクションでは、スケジュール録画の設定を紹介しています。

### 手順：


1. **設定 > ストレージ > スケジュール設定**をクリックして、録画スケジュール設定インターフェイスを開きます。
2. 録画スケジュールを設定するカメラを選択します。
3. **有効化**のチェックボックスにチェックを付け、録画スケジュールを有効化します。

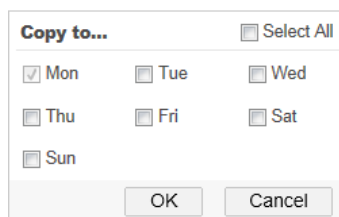


4. 1週間の曜日を選択して録画スケジュールを設定します。
  - 1) 曜日をクリックして録画の開始時刻と終了時刻を設定します。

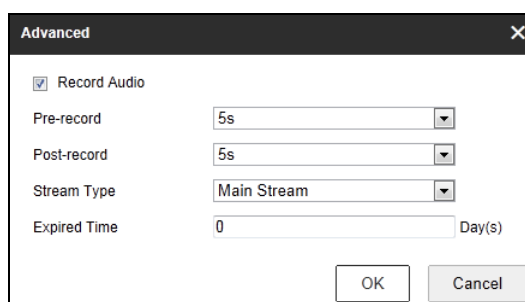


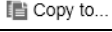
- 2) その時間帯の録画タイプを選択します。録画タイプは、スケジュール、動体、アラーム、動体 & アラーム、動体 | アラームおよびイベントが利用可能です。
- 3) 保存をクリックして設定を保存します。

- 4) 曜日の  アイコンをクリックして、現在の曜日の設定を他の曜日に必要に応じてコピーします。



- 5) OKをクリックして設定を保存します。
5. 高度をクリックして高度な録画パラメータを設定します。



6.  をクリックして高度な録画パラメータを設定し、その他のカメラに現在のカメラのスケジュールをコピーできます。
7. **保存** をクリックして上記設定を有効にします。

## 再生

再生タブをクリックして再生インターフェイスを開きます。




## インターフェイス紹介

No.	名称	説明
1	チャンネルリスト	チャンネルのリストと、各チャンネルの再生の状態を表示します。
2	再生ウィンドウ	チャンネルの画像を表示します。
3	再生コントロールバー	再生コントロール操作に対応しています。
4	タイムライン	時間バーと別の色でマークされた録画を表示します。
5	録画タイプ	録画タイプごとのアイコンを表示します。
6	カレンダー	ビデオファイルを再生する日付を選択できます。

## 再生の開始

手順：

1. メニューバーの**再生**をクリックして再生インターフェイスを開きます。
2. デバイスリストから再生するカメラをクリックします。
3. カレンダーから日付を選択して**検索**をクリックします。
4.  ボタンをクリックして現在の日付で検索されたビデオファイルを再生します。
5. ツールバーのボタンで再生モードでの操作します。

再生コントロールボタンの説明

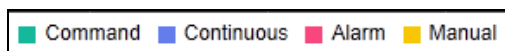
ボタン	説明	ボタン	説明
	再生/一時停止		停止
	スピードダウン		スピードアップ
	シングルフレームでの再生		キャプチャー
	全再生を停止		ダウンロード
	ビデオの切り取りの開始/停止		音声を開く/閉じる
	全画面		逆再生
	変換再生		

6. マウスで進行状況バーをドラッグし、正確な再生ポイントを指定できます。テキストボックス



で時間も入力し、 ボタンをクリックして再生ポイントを指定できます。

進行状況バーのビデオの色は、それぞれのビデオタイプを示します。



同時に複数カメラの録画ファイルを再生するには、 ボタンをクリックしてウィンドウ分割モードを設定し、ウィンドウを選択できます。その後、上記手順 2~4 を繰り返します。

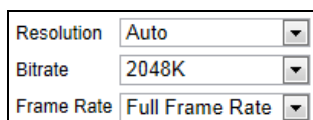
### 変換再生

#### 目的：

帯域幅コストを削減するには、変換再生を適用できます。

#### 手順：

- 現在のチャンネルの再生が停止していることを確認します。
- マウスを アイコンに移動し、解像度、ビットレート、フレームレートを含む変換再生に必要なパラメータを編集します。



- ボタンをクリックし、 に変わったら、変換処理は完了です。
- ボタンをクリックして変換再生を開始します。





セキュリティ専門家の第一選択